

令和6年度  
学校訪問・報告書

令和7年4月18日

全国内航タンカー海運組合  
船員対策委員会

## I. 令和6年度・学校訪問の活動を終えて

船員対策委員会で立案し組合員に参加を呼びかけている学校訪問は、新型コロナウイルスやインフルエンザの影響も受けず、全ての学校での実訪問となり、従前の活動が復活した感がありました。組合員各社の新卒採用の意欲は大変高く、参加社数の増加として顕著に表れております。(前年比参加社数延べ33社増)

つきましては、各学校の訪問報告書を添付いたしますので、学生や先生との貴重な意見交換の報告内容についてご参考に供されますようお願いいたします。

訪問活動にあたり、当委員会委員はじめ各支部より多くの方々のご協力を賜り、また、各学校の先生、学生におかれましても学校行事が立て込んだ中、多大なご協力を頂きました。ここに改めてお礼申し上げます。

令和7年4月  
船員対策委員会  
委員長 越智 崇

令和6年4月26日

組合員 各位

全国内航タンカー海運組合  
船員対策委員会  
委員長 内藤 吉起

### 学校訪問（又はWEB懇談会）参加ご案内

さて、当組合では、内航タンカー船員の高齢化・不足問題と若年船員確保の必要性から、令和6年度も学校訪問（又はWEB懇談会）を実施いたします。

昨年度より、新型コロナウイルスの影響も薄れたことから基本は実訪問といたしますが、学校側の希望やスケジュールによってはWEB懇談会も併用して実施致します。

つきましては、スケジュールの決定都度、組合員に参加を募ることといたしますので、貴社の船員募集活動の一助として本機会を有効活用され、参加について前向きにご検討下さいますようご案内申し上げます。

#### 記

1. 募集会社 … 参加会社の目的を問いません  
(求人票を出す予定、学校との顔つなぎ、会社PR、情報収集等)
2. 学校訪問 … 訪問参加者の旅費・交通費・宿泊費は各社自己負担  
※ 少人数制限の場合、募集しない場合もあります
3. WEB懇談会 … 内タンが学校側とWEBでつないだ環境に各社が参加  
内容は学校訪問と同じ(生徒・先生との懇談、参加社紹介等)
4. 申込方法 … 別添「学校訪問・WEB懇談会参加申込書」記入の上、内タン本部宛お申し込み下さい。参加会社には、追って詳細連絡します。
5. 問合せ先 … 目次、山口 TEL 03-3556-6521

以上

※ 委員長は平成6年6月18日の総会にて、内藤委員長から越智委員長に交代

## Ⅱ. 学校訪問・WEB懇談会一覧表（令和6年度）

区分	No	地区	訪問校	実施日	方法	担当支部	訪問・WEB実績		
							社数	人数	
海技教育機構	1	北海道	小樽海上技術短期大学校	12/13	訪問	関東	13	17	
	2	岩手	宮古海上技術短期大学校	11/22	訪問	関東	14	15	
	3	千葉	館山海上技術学校	2/20	訪問	関東	15	23	
	4	静岡	清水海上技術短期大学校	11/22	訪問	関東	18	26	
	5	佐賀	唐津海上技術学校/短期大学校	11/12	訪問	西部	22	27	
	6	長崎	口之津海上技術学校	11/21	訪問	西部	14	15	
	7	愛媛	波方海上技術短期大学校	11/15	訪問	四国	20	26	
水産高校	8	北海道	小樽水産高等学校	2/27	訪問	関東	10	13	
	9	岩手	宮古水産高等学校	11/21	訪問	関東	13	14	
	10	茨城	茨城海洋高等学校	2/14	訪問	関東	4	5	
	11	神奈川	海洋科学高等学校	12/23	訪問	関東	14	17	
	12	愛知	三谷水産高等学校	10/24	訪問	東海・関西	15	17	
	13	三重	三重水産高等学校	12/9	訪問	東海・関西	10	12	
	14	富山	滑川高等学校	11/11	訪問	関西	7	8	
	15	福井	若狭高等学校	10/30	訪問	関西	4	5	
	16	京都	京都海洋高等学校	5/13、10/9	訪問	関西	23	28	
	17	鳥取	境港総合技術学校	3/19	訪問	関西	4	5	
	18	島根	浜田水産高等学校	5/20、12/2	訪問	関西	20	23	
	19	島根	隠岐水産高等学校	9/24	訪問	関西	12	14	
	20	山口	大津緑洋高等学校	3/17	訪問	西部	0	1	
	21	香川	多度津高等学校	12/3	訪問	関西	13	15	
	22	高知	高知海洋高等学校	11/29	訪問	関西	11	13	
	23	福岡	福岡水産高等学校	8/21	訪問	西部	12	15	
	24	長崎	長崎鶴洋高等学校	7/10	訪問	西部	6	8	
	25	大分	大分海洋科学高等学校	12/5	訪問	西部	10	13	
	26	熊本	天草拓心高等学校	2/14	訪問	西部	0	1	
	27	宮崎	宮崎海洋高等学校	12/10	訪問	西部	0	1	
	28	鹿児島	鹿児島水産高等学校	12/19	訪問	西部	13	16	
	商船高専	29	富山	富山高等専門学校	11/14	訪問	関西	11	12
		30	三重	鳥羽商船高等専門学校	5/19	訪問	関西	8	11
		31	愛媛	弓削商船高等専門学校	12/4	訪問	四国	15	19
		32	広島	広島商船高等専門学校	12/4	訪問	関東・中国	14	18
		33	山口	大島商船高等専門学校	1/17	訪問	関東	11	16
	ほか	34	大阪	大阪成城高等学校	11/20	訪問	関西	3	4
	実施34校(延べ36校)							379	473

海上技術学校・同短大	7	116	149
水産高等学校	21	201	244
商船高等専門学校	5	59	76
工業高校・専門学校	1	3	4
令和6年度計	34	379	473
令和5年度計	33	346	450
前年度対比	1	33	23

# 学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	国立小樽海上技術短期大学校
訪問日	2024年 12月13日(金)
訪問者 13社、17名	伊勢和史(NS ユナイテッドタンカー)、櫻庭涼輔(旭タンカー)、山田智昭、入夏康平(明和タンカー)、佐藤祐樹(浪速タンカー)、小林武史(田湊海運)、藤澤敏則、小宮凜(幸洋汽船)、重信周平(日本ガスライン)、松本和成(大四マリン)、菊池究(霧島海運商会)、向井崇大(三重海運) 土井秀徒、金本大輝(三興運油)、竹駒勇治(昭和日タンマリタイム)、上田雄士(玄海汽船)、山口孝次(本部)
学校側面談者	西野大詞学生課長他
実施事項(○印)	○(1)学校側懇談○(2)生徒懇談○ (3)個別就職相談 (4)懇親会

10:20 (参加者集合) 3F会議室 学生:1年生29名(内女子2名)

10:40~10:55 (全員集合自己紹介) 多目的教室  
(学生との懇談) 組合参加者、学生を2グループに分  
け懇談会を実施

10:55~11:25 (第1回グループディスカッション)

11:25~11:55 (第2回グループディスカッション)

(グループ懇談会での学生からの質問等:重複有)

☆タンカー希望6名、フェリー希望10名、RORO希望  
7名、タグ希望2名他

☆会社選びで重視するポイント

→給料2名、休暇20名、司厨部の有無5名等

・(日本ガスライン(株)に対して)CO2船ではどのような業務がされているか

→舞鶴から苫小牧間を往復し、異常がないかを調べる実験船

・船内休暇の日数

→各船社とも月3~4日ほど仮バース、ただ完全休養ではなく整備作業等ありますという説明。

・新人教育で力を入れていることは何か

→各社とも乗船前研修有り、ハラスメント研修や操船訓練、外部マナー講習など

・荷役方法と貨物による違いはあるのか

→各船種から説明。弊社ケミカルタンカーではタンククリーニングの説明。

・フェリーとの違いやタンカーのメリット

→不定期航路が多いため色々な箇所の航法が学べて力がつく、給料が高い、長期乗船な分まとまった休  
暇がもらえる

・ケミカルタンカーでは危険を伴う作業はあるか

→ケミカルに限らずタンカーの安全基準はものすごく高いためむしろ安全、保護具の着用など徹底、タ  
ンククリーニングも最近では自動化している

・タンククリーニングはいつもするのか

→専用船であればしない、ばら積み船であれば油タンカーならガスフリー、ケミカルタンカーならクリ  
ーニングを行う

・タンカーに乗ってて楽しかったこと

→インフラを支えていることに対するやり甲斐、3ヶ月乗船後の通帳を見るわくわく感



12:00~12:20 (教職員との面談) 多目的教室 西野学生課長他数名と面談を行った。

・タンカー希望者は例年少ないのか

→年による、フェリーが今年の1年生は多かったが1期生は2人、2期生は8人とばらつきがある。地域柄も起因ではある。

・12月現在でどのくらい進路を固めているか

→1月から乗船実習に入るため、7月の海技者セミナー後から11月頃までにほとんどが希望を固めている。2年生の5月までに会社訪問を済ませる。次回内タン学校訪問は6月または10月頃が良いだろう。

・現2年生の就職先

→内航船に進んだ23名のうち半数ほどがタンカー会社。具体的な数字はなし。

☆学校側から学生との懇談会形式を今回のような分割式でやるのか、従来通りの全員一緒にやるのか。

→許容時間との兼ね合いで効果的なコミュニケーションを念頭に設定する。

・海技者セミナーは参加費払って全員出れるような会場でやるように伝えて欲しい。

→来年度の小樽会場はWebでも出来るかもしれない。

(学生の感想)

後日、学校側から懇談会について学生の感想を送付して頂いた。

・フェリー志望ですが、タンカーの船内環境や仕事内容について深く理解することができました。また、フェリーとの比較もできたので、今後の就職先決定の参考にしたいです。

・今回は、新人教育についてどのように力を入れているかについて質問しましたが、どの会社もしっかりと新人を育てたいという思いが伝わりました。

・本日は、たくさんの企業の方のお話を聞いて自分が希望する船種との違いを知り、就職先を決める際の参考になりました。この経験を活かして行きたいです。

・乗船期間に関する事で、3ヶ月乗船の1ヶ月目は長いですが、2ヶ月目まで行けばあとは慣性で過ぎていくのでそんなに苦痛ではないと、実際に乗っていた方々の意見をもらい参考になりました。

・内航タンカー説明会を聞いて、タンカーのことについてあまり詳しく知らなかったのですが各船社に色々質問でき、疑問点などを解消することができました。今回は貴重な体験が出来ました、ありがとうございました。

・自分はフェリーを希望していましたが、三重海運の担当者のお話を聞き、タンカーにも興味を持つことができました。フェリーとの違いをわかりやすく教えてくれ、また、メリットデメリットも包み隠さず教えてくださり、とても参考になりました。

・タンカーの魅力について不定期航路であるため、定期航路のフェリーやRORO船のような定期航路の会社よりも飽きがこず、様々な港に入港できることを教えて頂きタンカー会社にも大変興味を持つことができました。

今日の内航タンカーの説明を聞いてみてフェリー志望でしたがフェリーの利点や欠点、タンカーの利点や欠点をしれたのでこれからの就職活動の参考にしたいと思いました。

・今回は、他の合同説明会と違い対面でのお話を聞くことが出来ました。また船員のプライベートでの過ごし方を聞くことが出来とても勉強になりました。



・今回のタンカー説明会で、タンカー乗りについて詳しく知ることができ、RORO 船とは異なる多くのメリットがあることが分かった。

タンカー運行会社について詳しく調べ、今後の会社選びに役立てていきたいと思いました。

・タンカー船をブラックな職場環境だと勘違いしていた。あまり世間にはいい印象ではないため勝手に遠ざけていたが、話を聞く限り、タンカー船にはタンカー船なりのメリット、デメリットがあり、別の船種にはそれぞれの良さ、悪さがあることを知った。

あまり視野に入れてなかったが、タンカーの求人も見ていきたいと思った。

・タンカー船のメリットやデメリット、他の船種の違いについて詳しく教えていただき、とてもためになる時間になりました。また、先輩方の実際働いてどうだったかなどの体験談なども聞けて今後にとっても役に立つ情報を聞けました。今日の出来事を今後の就職活動に活かしていきたいです。

・船についての知識もある程度付き、就職に向けての調べ物もそれなりに終えたこのタイミングで内航タンカー船の赤裸々な話が聞けたのはとても参考になりました。

質問に対して複数の会社さんから答えがいただけたため、視点の違いなどが見えたことも良かったと感じました。

・自分の希望している船種と違う会社の方々のお話でしたが、他の船種と比べて大変なところ、良いところを対面で聞いたのは勉強になった。

・今回内航タンカー会社の方々とお話しをすることができ、自分の中で曖昧だった部分をはっきりとさせることができたように思えます。

特に陸上職員を任される条件については、基本、陸上なら陸上、内航なら内航一本だという事を知ることができてよかったです。

スマホを見ながら話を聞けば内容がより頭に入った気がします。

どの人がどの会社の人か分からなかったので、机の上に小さなボードみたいなのがあればなお良かったです。

タンカーについての知識がほとんどなかったのですが、今回の内航タンカー説明会でタンカーと船はどのようなものなのか、また、タンカー船から乗り始めると他の船に転職してもやっていけるなど、タンカー船ならではの話をたくさん聞くことができとてもためになる時間でした。

以上

# 学 校 訪 問 報 告 書

学校名	宮古海上技術短期大学校
年月日	令和6年11月22日 9:30~12:20
訪問者	藤澤 (幸洋汽船)、入夏 (明和タンカー)、外城 (英雄海運)、新井 (シヨクタンカー)、岩永 (浜崎海運)、 萬屋 (デュカム)、向井 (三重海運)、櫻庭 (旭タンカー)、伊勢 (NS ユナイテッドタンカー)、加藤 (昭和 日タマリタム)、土井 (三興運油)、山岸 (鶴見サマリソ)、重信 (日本カスライ)、佐藤 (浪速タンカー)、 澁 (事務局)
学校側	鈴木校長、泉岡副校長、田中教務課長、山田学生課長
実施事項	(1) 生徒全体説明 (1年生41名) (2) 先生との懇談

## 懇談・意見交換概要

(先生との懇談概要)	
○内航タンカーの現況説明	
○宮古校の現況	

- ・参加者…41名の学生、内現役生28名、既卒生13名。女性は3名、既卒者で30歳代が3名。
- ・今年度就職状況…39名中、タンカー船に12名(31%)が希望し、就職予定となっている。
- ・現1年生においても10月のアンケート結果では、41名中13名(32%)がタンカーもしくはケミカルタンカーへの就職を検討している。
- ・今のところ、入学者は定員ギリギリで定員割れの年もあり、厳しい状況である。
- ・学生が決める判断要素は、給与、船種、休暇、福利厚生、司厨長の有無で、給与が一番であった。
- ・海技者セミナーや夏・冬の会社訪問を積極的に行うよう指導している。
- ・今後、学校も船もLGBTへの対応が必要。制服の自由化をはじめ検討している。

(生徒との懇談概要)	
○DVDで内航タンカーしごと説明	
○出席各社の紹介	
○生徒との懇談で次の質問	

- (1) 離職率は？ 平均すると2~3割程度。入社直後と3年目頃が多い。
- (2) 荷役には機関部も参加？ 揚げ荷役では本船の主機を使うため、機関室での仕事になる。小型船では荷役に参加する場合もある。
- (3) 海技免許以外必要な免許は？ 上級職員になると危険物資格が必要となる。他には航路で無線免許。
- (4) 30歳代後半での就職は？ 基本的には年齢は関係なく、本人次第。しかし、年齢に関わらず、新人と同じ扱い、処遇となる。
- (5) 機関と甲板で迷うが、変更は可能か？ 甲板から機関は難しいが、機関から甲板への変更は例がある。
- (6) 残業の内容は？ 主に荷役時間とスタンバイ等の待機時間で超過した部分が多い。
- (7) 司厨長がない船の違いは？ 司厨長がない場合は自分で食事を賄い、個々に食料金が支給される。
- (8) タンカーの安全性は？ 製品によっては有毒な物もあるので、安全に十分考慮して荷役を行っており、特に静電気への注意を重視している。
- (9) 女性船員の採用と船の環境は？ 女性船員を雇用している会社は増えており、特別な設備をしている会社としていない会社で決まりの中で運用している会社がある。
- (10) 会社が求める人物像は？ コミュニケーション能力があり、挨拶・掃除がきちんとでき、多少きつい言い方をされても耐えうる精神力があること。

### (全体の感想)

当校は校長先生をはじめ対応が良く、資料もきちんと作られ、生徒については、まじめな態度であり、積極的に質問をして、タンカーへの就職に対し興味も感じられた。それぞれの生徒の顔つきも凛々しく、女性も積極的に質問をしていて、全てにおいて好感がもてた学校であった。

以上

# 学校訪問報告書

訪問学校名	国立館山海上技術学校
訪問日	2025年 2月20日(木)
訪問者 4社、5名	本多(六青和シッピング)、松本、西澤(大四マリン)、岩永(浜崎海運)、篠原(田渕海運)、荒崎(TSマリン)、長田(鶴見サンマリン)、藤澤(幸洋汽船)、菊池(霧島海運商会)、竹駒、諸見(昭和日本タンマタイム)、上田(玄海汽船)、重信(日本ガスライン)、平野(エムエスケイ)、小野田(六甲船舶)、伊勢(NSユナイテッドタンカー)、山田、入夏(明和タンカー)、前島(英雄海運)、向井(三重海運)、高木(大和海運)、山口、目次(本部事務局)
学校側面談者	橋本校長、切江教頭、高橋指導学生課長、山田教務課長ほか
実施事項	○(1)学校側懇談 ○(2)学生懇談

## 懇談・意見交換概要

◎学生への業界説明 13:20～14:50

- ・参加者生徒 2年生 29名
- ・最初に内タンDVD(内航タンカーはいま、若い力を求めています)を上映、その後、参加各社自己紹介



(上) 1社ずつ自社紹介の様子

- ・その後、3グループ(関東オペレーター等、地方オーナー等、ケミカル・ガス・特タン等)に分かれ、学生が1グループを15分程度のサイクルで順番に回り、グループ毎の特色を生かして質疑応答
- ・生徒から出された主な質問
  - ①給料・ボーナス ②休みのサイクル ③年齢層 ④Mゼロ船の有無 ⑤休暇中の給料
  - ⑥乗組員部屋の設備 ⑦人間関係 ⑧希望した船に乗れるか ⑨在学中にしておくべきこと
  - ⑩乗船時にどのくらいの荷物を持ち込めるか ⑪職員・部員スタートどちらが良いか
  - ⑫船に乗るときに気をつけることは ⑬部員の期間 ⑭海員組合に入っているか
  - ⑮部員の良さ、職員の良さ ⑯新人がやるべきこと ⑰各種祝い金、育休の制度
  - ⑱就職して最初に覚えること ⑲最低限の必要な持ち物 ⑳福利厚生 ㉑休憩時間と休息環境
  - ㉒プロモートの有無 ㉓残業時間 ㉔保険、各種手当



(上) 3グループに分かれての懇談の様子

・学生への質問（29名に対し）

デッキ志望者12名うちタンカー希望7名、エンジン希望19名うちタンカー希望4名  
全体29名中11名38%がタンカー希望（説明会開催前のタンカー希望は6名20%とのこと）  
その他希望船は、タグ3、フェリー4、貨物1、官庁2、進学等

◎先生との懇談 14:55～15:20

- ・3年生の進路状況 32名中31名が就職、内航は20名（タンカ-7名、フェリ-4、タグ 3、官庁1ほか）
- ・新入生の応募状況 40名定員で40名合格 うち34名は入学確定（残りは併願回答待ち）
- ・タンカー就職は毎年7～9名（ほかの船種より多い数で安定）
- ・今年陸上就職が1名いたが個人の希望で、陸上に目を向け出した傾向はない
- ・90%以上が寮生、地元からの通いは数名
- ・2年生のエンジン希望が多いが（29名中17名）、たまたま今年の傾向で、通常は4割以下
- ・YouTubeを活用した授業も実施、各社がアップしている画像も教育で活用
- ・船会社を選ぶ動機、決め手は？ →色々なツールから情報を入手するよう指導、また、数社の会社訪問を指導している →会社としては本命でなくても訪問して話しを聞いて欲しい、複数社訪問も歓迎

以上

## 学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	国立清水海上技術短期大学校
訪問年月日	令和 6年11月22日 15:00～17:10
訪問参加者	越智(東汽船株)、高木(大和海運株)、竹本(日本ガスライン株)、山田(明和タンカー株)、藤澤(幸洋汽船株)、齋藤(上野ロジケム株)、野末(大光船舶株)、上村(田渕海運株)、菊池(株霧島海運商会)、野村(旭タンカー株)、横山(NS ユナイテッドタンカ株)、山本(山本汽船株)、荒崎(TSマリン株)、西澤・道脇(大四マリン株)、長田(鶴見サンマリン株)、石井(大一海運株)、諸見・平田(昭和日タンマリタイム株)、及川・松本・古田・塩田(上野トランステック株)、原、山口、難波、目次(本部事務局)
学校側面談者	宮野校長、関本副校長、佐々木教務課長、下山指導課長ほか
実施事項	① 先生との懇談 ② 生徒との懇談(1年生108名)

### 懇談・意見交換概要

#### (タンカー見学会後の懇談会)

・午前中に清水港で1年生 108 名を対象にタンカー見学会(昭久丸、のじぎく)を開催し、午後、学校に戻り、学校訪問参加会社が集合し、先生から就職状況の概要を説明の後、学生との懇談会を開催。

(下)宮野校長先生から参加会社へ挨拶



#### (学生との懇談会)

- ・参加学生1年生 108 名
- ・参加企業 18 社・22 名、事務局 4 名
- ・タンカー業界・就職状況の概要説明、参加会社全社の企業PRの後、学生との懇談会実施

#### ◆学生からの質問

- (1) 参加会社で女性を雇うことが出来る会社は？
- (2) 明和タンカーのケミカルタンカーはどんな品目を運ぶか？
- (3) 大一海運のアンモニア輸送は、どこにどんな用途で使われているのか？
- (4) 陸上勤務は会社命令で必須か？
- (5) 陸上勤務者の具体的な仕事内容は？
- (6) 大和海運の昇給・昇進方法を具体的な事例で教えて欲しい？
- (7) 大四マリンの魅力を教えて欲しい？
- (8) 参加会社はどんな人材の採用を希望しているか？



(上) 1社ずつ自社PR実施

- (9) キャリアアップの仕組みは？
- (10) 鶴見サンマリンの船員像、必要な資格を教えてください？
- (11) 午前中に見学したケミカル・白油船と黒油船では、構造や作業面での違いはあるか？
- (12) 昭和日タンマタイムの入社前の研修方法を教えてください？
- (13) 各社の乗船サイクルを教えてください？

(下) 学生から参加会社への質問



- (14) 学生時代に覚えておくべきことや必要な資格のアドバイスはないか？
- (15) 乗船期間が延びることはあるか？ある場合の具体的な理由は？
- (16) 陸上勤務職に必要な免状のランクはあるか？
- (17) 陸上勤務職の給与体系は、船員職と比べどう変わるか？
- (18) 参加会社で福利厚生に特徴がある会社の事例を聞きたい？
- (19) 船上で病気になった場合、どのような対応が行われるか？
- (20) 船員としてITやデジタル化に対する能力は、どの程度求められるか？
- (21) 定期航路と不定期航路の良し悪しを、船員（経験者）に聞きたい？
- (22) 有給の買い取り制度、実績はどのような実態か教えてください？

◆ 船社からの質問

- (1) 陸上職への質問が多かったが、(将来も含め) 陸上職を希望するか？ ⇒ 10名挙手
- (2) 午前中のタンカー見学会・この懇談会を終えて、就職先としてタンカーが選択肢(希望)に入ったか？ ⇒ 約8割挙手

以上

## 学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	国立唐津海上技術短期大学校
訪問年月日	令和6年11月12日(火) 13:30～16:00
訪 問 者	土井(三興運油株)、上田(玄海汽船株)、野村(旭タンカー株)、伊勢(NSユニテッドタンカー株)、馬場(シヨクユタンカー株)、松本・松本(松盛汽船株)、上村(田渕海運株)、三浦(大和海運株)、竹本(日本ガスライン株)、藤澤(幸洋汽船株)、木下・長田(鶴見サンマリン株)、千守(興栄海運株)、田村(コウン・マリン株)、山田・入夏(明和タンカー株)、浜崎(浜崎海運株)、林(祝林タンカー株)、佐藤(浪速タンカー株)、萬屋(株)テュカム)、菊池(株)霧島海運商会)、和泉(和泉海運株)、合田・宮崎(トクヤマ海陸運送株)、柘井(国華産業株)、薄墨(西部支部)
学校側面談者	野村校長、野中学生課長、ほか
実施事項	① 生徒との懇談(1期生 30名) ② 先生との懇談

懇談・意見交換概要(別紙添付可) ◆・➡は学校側、◇・➡は企業側の発言を示す。

### (生徒との懇談)

・それぞれ2班に分け、ローテーションで懇談会を実施

・参加企業紹介については、事前に1社A4版2ページの会社紹介資料を冊子にして配布

◆貨物船とタンカー船で荷役設備はどう違うのか。

➡タンカー船では、船の油を陸上に上げる作業は乗組員で行い、貨物船の場合は、クレーンなどを使って陸上の人が荷役を行う。

◆仮バースについて、荷役当直が終わり次第仮バースになるのでしょうか。

➡オペレーターと相談しながら、荷役が終わったところの近くで休みことがあります。

◆貨物船とタンカー船では、手当に違いがあると思うが、どんな違いがありますか。

➡タンカー船にあって貨物船にないのは、荷役手当・危険物手当・タンククリーニング手当など。

◆危険物を取り扱うのに資格などが必要であれば、在学中に取っておきたいので、教えてください。

➡必要ありません。必要なタイミングで会社が資格を取りに行かせます。

◆タンカー船が沈むと写真を見たことがあるが船は安全か。

➡油は水より密度が軽いから浮きます。そして、ハッチやドアを閉めておけば船は沈まないです。

◇卒業して船に乗りたいと思っている方。挙手願います。

➡全員

◇何を重視して会社を選びますか。

➡給料9名、休暇11名、福利厚生3名、その他7名

◇タンカーでも3種類あるが、同じ船種へ乗船を希望するか、いろんな種類へ乗船を希望するか。

➡同じ船種が良い・無し、どの船種でも良い・ほとんど

◇会社を見る際、ネットをどのような使い分けをしているか。

➡HPで会社の概要・給料・休暇・福利厚生などを見たいうえで、実際に船内どのような生活をしているか気になるときにインスタやYouTubeを見に行くことが多いです。



- ◆船内で仕事とプライベートのメリハリをどのようにして切り替えたら良いですか。
  - ⇒先輩に教わったのですが、愚痴をこぼせる相手を作っておくと良いと思います。
  - ⇒仮バースが取りやすくなっているので、その時に発散をすれば良いと思います。
- ◆船に乗った時に、先輩の方だとか上長の方と会話する上で、何に気をつけたら良いですか。
  - ⇒分からないことは、教えてくださいという姿勢が必要だと思います。
  - ⇒船内では、先輩から怒鳴られることもある。それをパワハラと捉えるのか、危険な行為をしたので注意されたと捉えるか。自分の捉え方で印象は変わってくると思います。
- ◆学校にいるうちにやっておいた方が良いことがあれば教えてください。
  - ⇒一つのことを一生懸命にやることを身に付けておくこと。
  - ⇒4級を取ることと3級の筆記にトライしてください。就職すると他に覚える事がたくさんあって、勉強する時間はそんなにありません。
- ◆船員が、つらいと思った時にどのように対処して乗り切りましたか。
  - ⇒同期と連絡を取って愚痴をこぼし合うのが、本当一番の薬だと思います。
- ◇乗船期間について
  - ⇒3乗船・1月休暇・・・9名、 2月乗船・20日休暇・・・残り全員
- ◆若い船員の良い傾向と悪い傾向、自分たちに求めるものは何か教えてください。
  - ⇒入社時はみんな同じ。真面目に一生懸命に仕事に取り組む気持ち。そして、勉強すること、分からない事は率直に聞くこと、そういう姿勢が大事です。
  - ⇒学ぶ姿勢、コミュニケーション能力に加えて、自分の将来をどういう風に歩んで行きたいかを具体的にイメージしながら生活してもらいたい。
- ◆初めての乗船実習で、特に学んで欲しいことがあれば教えてください。
  - ⇒出来るだけ舵や船についてる計器に触って欲しい。こういうものがついてるんだっていうのを経験してもらいたい。
  - ⇒運航に関する基本的なこと。法律や海図の位置入れとかロープワークなどを学んで欲しい。あと、固有名称が、違う場合があるので、用語の違いを覚えて欲しい。
  - ⇒当直や仕事の時に、乗組員の動きを良く見て、気になることがあったら聞くこと。
- ◆各社さんの研修について教えてください。
  - ⇒社会人としての社内教育訓練をしたあとに、業務に関する教育訓練をしています。また、外部講師による研修なども取り入れています。
  - ⇒職員に上がるなど適切なタイミングで、ECDIS研修やBRM研修やシミュレーター研修などを受けてもらいます。
- ◇夏休みにタンカーを見に行ったり、体験乗船をした方で、実際に乗船する前と乗船した後で意識が変わった点を教えてください。
  - ⇒あと2年でこの規模の船で働くんだという実感がすごく湧きました。
  - ⇒乗船して、すごく勉強になったが、全然自分の勉強が足りないことを実感することができた。船の運航や荷役に対する責任感をしっかり持たなければいけないと思った。
  - ⇒ラインや計器を全部見せてもらって、実際の作業と授業で行っている内容と違ったことも教わることができた。

➡学校と違う角度からの話を教えてもらったりして、とても良い経験をさせてもらった。

### (先生との懇談)

◆本校の課題としては、認知度を高め定員を確保していくこと。また、寮が今年末で老朽化により廃止されるため、募集に影響が出てくるかもしれない。

◆昨年度までの就職状況は、タンカー及び貨物船がそれぞれ30~40%で本校の特長。

◇業界に対して入学者数を増やすための要望など何かありますでしょうか。

➡船員になるための学校があることをPRしていただくとともに、海運業界全体で船員になるための支援体制を整えて欲しい。

◇パンフレットなどは、普通の高校とかにお配りされているのですか。

➡配布している。また、我々教員も学校へ伺っておりますが、人数に限りがありますので九州の学校ということで、訪問数も限られております。

◇入学者については、水産高校出身者の方多いのか、普通科高校出身者が多いのか。

➡その辺の具体的なデータは持っていない。ただ、社会人が全体の2割程度います。

◇生徒さんがどのような観点で会社を決定しているの教えていただきたい。

➡求人票では、給料と併せて休暇が確実に取れるかっていう点も気にしている。あと人間関係については、自分たちが船内の雰囲気に合わせてるのが当然であると指導している。

◇新卒を採用して、3年経たずに辞められる方がいます。入社後のミスマッチを防ぐために学校側としてどのような取り組みをされているか。

➡学校全体で行っている夏休み期間中の体験乗船。あとは会社訪問。

⇒会社訪問は希望すれば幾らでも行けるのか。やっぱりいろんな会社へ行って会社を選んだ方が会社の雰囲気なんかも分かるので長続きする。

◆学校では学習指導要領の許される範囲内で、現場に合わせたような授業を組んで行きたいと思っているが、何か参考になるものがあれば教えて欲しい。

⇒基本的には学校で教えられることをしっかりやるのが大事。働いてみて初めて分かることも多いと思うので、学校と現実とが違っているのは仕方がない。

◇寮が廃止されるということだが、住まいはどうするのか。

➡自分たちでアパートを探して借りることになる。また、アルバイトも可能になり、お金を稼ぐことができ、責任を持ちながら生活しないといけない面も出てくる。

◇生徒さんからWEB面談の相談があった場合には、生徒さんへの支援をお願いしたい。

➡そのような場合には、学校側としても支援をしていきたいと思っております。

## 学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	国立口之津海上技術学校
訪問年月日	令和 6年11月21日
訪 問 者	土井(三興運油株)、浜崎(浜崎海運株)、松本(松盛汽船株)、米澤(日本ガスライン株)、三浦(大和海運株)、岡(旭タンカー株)、上田(玄海汽船株)、佐藤(浪速タンカー株)、小林(田渕海運株)、横山(NS ユナウテッドタンカ-株)、山田(明和タンカー株)、平野(株エムエスケイ)、松本(大四マリン株)、本多(株六青和シッピング)、薄墨(西部支部)
学校側面談者	黒田校長、楠指導課長、 ほか
実施事項	① 先生との懇談 ②生徒との懇談(2年生31名、1年生31名)
懇談・意見交換概要(別紙添付も可) ◆・➡学校側、◇・⇒企業側を示す。	
<p><b>(生徒との懇談)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれ3班に分け、ローテーションで懇談会を実施</li> <li>・参加企業紹介については、事前に1社A4版2ページの会社紹介資料を冊子にして配布</li> </ul> <p>◆働きながらも上級の海技免状を取ろうと思ったら休暇中に取れますか。</p> <p>⇒多くの会社が、下船させると思います。免状取得の費用を負担する会社もあります。</p> <p>◆船内の食事がどんな感じが教えてください。</p> <p>⇒司厨長が居る場合は、朝昼晩作ってくれますし、味も美味しいです。居ない場合は、食事は自分で作ります。食材は、仮バースの時に買物に行きます。</p> <p>⇒食費は司厨長が管理しますが、居ない場合は、個人に食料金が会社から支払われます。</p> <p>◆年齢の高い方と上手く接する方法を教えてください。</p> <p>⇒まずは先輩方に可愛がってもらうことが大事。礼儀正しく先輩方に積極的に話しかけること。分からないことがあったら何でも先輩方に聞くことはすごく大事です。</p> <p>◆社内で船員に対してハラスメント防止に関する教育をしているという会社がありますか。</p> <p>⇒会社でもハラスメントには注意しており、外部の講師を呼んで研修などを行っています。</p> <p>◆休暇の途中でも緊急で船に乗らないといけないということはありますか。</p> <p>⇒あります。例えば、親の不幸があった時などは、その船員を降ろして他の船員を乗船させます。また、逆に自分が下船する場合もあるので、両方の立場があります。</p> <p>◆船の上で事故が起こらないように日頃気をつけていることはありますか。</p> <p>⇒基本を守ることが大事。タンカー船は、危険物を運んでいるので、全ての船員が他船より安全に対する意識を高く持って仕事をしており、各社安全教育には、非常に力を入れているので、タンカー船の事故は少ないと思います。</p> <p>⇒タンカーの場合、荷主さんからも非常に厳しいチェックが入っています。これらがタンカー船の安全が保たれてる理由の一つだと思います。</p>	



◇休暇サイクルについて質問します。

⇒3ヶ月乗船1ヶ月暇・・・ほとんど、2ヶ月乗船20日休暇・・・少々、  
1ヶ月乗船10日休暇・・・なし、日帰り・・・なし

◇今の時点で会社を選ぶ時に一番大事なのは何か教えてください。

⇒給料・・・15名、休暇・・・37名、司厨長が乗船・・・4名

◆会社としてどのような人材を求めているのか教えてください。

⇒やはり船員同士が仲良くして、乗船したら船内で自分の居場所を見つけて欲しい。分からない事があれば先輩の人たちに聞く気持ちを持った人。

⇒船員として、向上心があって・コミュニケーションが取れて・整理整頓がきちんと出来る人。これが良い船員になる要素だと思うので、しっかり身につけて欲しいです。

⇒基本的に与えられた仕事を一生懸命頑張れる人。そんな後輩は、先輩として可愛く思う。

◆会社で運航している船ってどれくらいの間隔で停泊とかしたりするのか教えてください。

⇒船の大きさや航路・季節によって違うので、一概には言えないが月に3~4回は停泊していると思います。また、労働時間管理が厳しくなったので、昔に比べ回数が多くなった。

◆学生生活の中でしておいた方が絶対良いというのを教えてください。

⇒今しかできない勉強をしっかりとしてください。社会人になっても勉強する習慣は大事です。

⇒初めて乗船すると最初の仕事は掃除です。それが自分の評価につながるので、真剣に掃除をする習慣を身に付けてもらいたいです。

⇒嫌な人でも拒絶するのではなく、一緒に話せるぐらいに慣れておけば、船内でも普通に生活ができるので、いろんな人と喋ることを覚えていただければと思います。

◆タンカーは、きついから大変だと聞きますが、どういう所が大変なんですか。

⇒タンカーの一番の特色は、船員さんが荷役作業を行うこと。その点が他の船種に比べて仕事が大変だと思います。また、積荷によっては、タンククリーニングや積み荷の前にタンクを冷却する作業があります。

⇒荷役作業によって、3直制4時間働いて8時間休むというパターンが崩れる場合があること。

◆ケミカルタンカー船に乗っても体調は大丈夫ですか。

⇒昔の人は無茶をしていたが、今はちゃんとした手順を踏んでガス検査等をしてガスがないことなど安全を確認してから作業に取り掛かっていますから大丈夫です。

◆女性の船員さんが乗船している船についてお伺いしたいです。

⇒女性専用設備の無い船では、女性がお風呂やトイレを使う時は、札を掛けて鍵をかけて使ってもらっていました。最近の船では、女性専用設備を備えた船もあります。

◆船の中での雰囲気はどんな感じですか。

⇒5~8人乗船で年齢幅も広いけど、いつも会話が絶えないような雰囲気になっています。

⇒11~14人乗船で、どの船にも世代が近い人がいるので、若手からしたら生活しやすい。

⇒比較的若い人が多いので、仮バースの時には一緒に食事に出かけたりしています。

◆これから船種を決める上で、何かアドバイスがあればお願いします。

⇒せっかく同じ船員になるのだったら給料が高い方が良いのではないかと。タンカーの方が絶対に他の船種より給料高い。生活する上で大事な選択条件の一つだと思います。

◆上を目指すために一番大事なことはなんですか。

⇒常に向上心を持って、与えられた仕事を一生懸命、真面目に、確実にやること。

◆Wi-Fiはずっと繋がっていますか。

⇒航路によっては、一部切れるが3～4時間ぐらい走ったらまた繋がるようになります。  
24時間全く繋がらないということはないです。

◆頼れる船長になるにはどうしたら良いですか。

⇒まずは、分からないことを聞いたりして、目の前の仕事を確実にやって、次に自分がイメージしている船長に出会えたら、その人を目指して頑張ること。

◆3ヶ月乗船して休暇明けに乗船したとき、前のメンバーとどのくらい違うのですか。

⇒その時にもよるが、同じ船だと1/3ぐらいは入れ替わっている感じになる。ただ、船が変わった場合には、全員が変わります。



### (先生との懇談)

◇本年度の卒業予定者について

⇒本年度の卒業予定者が16名。進学希望1名、就職活動中2名、内定者13名。  
船種は、タンカー船5名・セメント船2名・RORO船4名・貨物船1名・調査船1名。  
職種は、甲板希望12名・機関部4名。

◇3年生の入社時期としては、何月頃でしょうか。

⇒10月、11月1日、12月1日とバラバラ。今は試験が終わってからの12月が多いような感じ。出来れば口述試験を受けさせて、入社・乗船と進んでいただきたいです。

◇学生が就職活動する際にどうやって情報を収集する手段を教えてください。

⇒前年度の求人票とパンフレットが多い。無料のWi-Fiの環境がある生徒はネット。

◇就職ガイダンスはいつ頃やられるのか。

⇒合計3回実施する。1回目が2年生の3学期で求人票の中身やスケジュール。2回目が3年生の7月で会社訪問の仕方。3回目が夏休み前か休み明けで就職活動となります。

⇒ mismatchesを減らすために数多く会社訪問をして欲しいが、難しければ会社担当者からいろんな情報を提供できるよう生徒へ指導して欲しい。

⇒高校生と同じように一人社です。学校の授業の邪魔にならないように、ウェブで企業説明を聞きくなど、選択肢の幅を広げるような運用を検討して行きたいと思います。

⇒生徒は、海技者セミナーが、会社の担当者の対面で話をする最初の機会。その前に会社訪問をするのは、生徒は少し抵抗感を感じており、就職意識がまだ高くなっていない。

◇就職の流れとしては、この時期に2年生を対象に内タンで説明をして、気持ちの固まる6月ぐらいにだいたい会社を決めて、8月ぐらいに会社訪問して、9月に面接を受けるというのが、学校側も生徒側にとってもちょうど良いスタンスですか。

⇒流れ的には今の時期が一番いいのかなって感じる。今回、内航タンさんが来られたことにより、生徒にとって最初の就職の意識づけが出来たと思います。

◆会社側を班別する時、タンカーの特色ごとに分けて事前に生徒へ伝えておけば、また違った質問が出るのではないかと考えるので、検討してはどうでしょうか。

⇒検討して行きたい。

# 学校訪問報告書

訪問学校名	独立行政法人海技教育機構 国立波方海上技術短期大学校
訪問日	令和6年11月15日（金）
訪問者	内タン四国支部副支部長 多田憲司はじめ、20社と事務局1名 参加事業者20社をAグループ（11社）とBグループ（9社）に分けて実施。 【Aグループ】 1 金力汽船(株)、2 如月汽船(株)、3 (株)霧島海運商会、4 興栄海運(株)、 5 幸洋汽船(株)、6 四国中央汽船(有)、7 祝林タンカー(株)、8 (株)デュカム、 9 浪速タンカー(株)、10 宝山汽船(株)、11 浜崎海運(株) 【Bグループ】 1 和泉海運(株)、2 NSユナイテッドタンカー(株)、3 玄海汽船(株)、 4 コーウン・マリン(株)、5 松盛汽船(株)、6 鶴見サンマリン(株)、 7 日本ガスライン(株)、8 明和タンカー(株)、9 宮崎海運(株) 【事務局】 山内（四国支部）
学校関係者	庄司学校長、赤尾副校長 佐々木学生課長、教職員
実施事項	第一部 学生全体への説明会（2班に分かれて2グループの事業者に対して実施） 第二部 学校関係者と内タン組合員事業者との情報交換

## 学校訪問の概要

### 第一部（前半 13:30～14:15、後半 14:25～15:10）

#### ○学生全体への説明会（質疑応答を含む）

参加学生1年生85名をI班とII班に分け、参加事業者2グループに対して実施。

前半（I班とAグループで（13:30～14:15 本館・合併教室）

（II班とBグループで（13:30～14:15 技業棟3階教室）

後半（II班とAグループで（14:25～15:10 本館・合併教室）

（I班とBグループで（14:25～15:10 技業棟3階教室）

（1）内タン参加事業者の自己紹介（1社2分以内）

（2）内航タンカーの概要について（事業者の説明及び質疑応答：約25分）

（Aグループの回答者：四国支部 多田副支部長ほか全国からの参加事業者）

（Bグループの回答者：全国からの参加事業者）



写真 学生全体への説明会の様子

### 【質疑内容の一部】

- ・タンカー船員になることのメリット、デメリット
- ・船員を辞めていく人と残る人の違い、適性について
- ・タンカー船員の労働時間やスケジュール、各社の乗船サイクルや休暇について
- ・タンカー船の最新の設備について
- ・女性船員の雇用実績と女性船員受け入れ対応設備の有無について
- ・食事の好き嫌いの対応について

### 第二部 (15:20~16:00) (本館・合併教室)

○学校(校長、副校長、学生課長)と内タン(組合員事業者)との情報交換会

#### (1) あいさつ

- ・全国内航タンカー海運組合四国支部 副支部長 多田憲司
- ・独立行政法人 海技教育機構

国立波方海上技術短期大学 学校長 庄司大志

#### (2) 内タン出席者の自己紹介

#### (3) 国立波方海上技術短期大学校の現況について(学校から)

出席者：学校3名、事業者25名(20社)、事務局1名

#### (4) 情報交換



写真 学校関係者との情報交換会の様子

### 【概要】

学生の応募状況が良くなっており、定員割れの心配はない状況まで回復してきている。これは、地道な募集活動の成果だと推測している。

学生の進路状況について、海上への就職が伸びており、令和5年度卒業生については、特にタンカー船への就職が44.6%と非常に高かった(R4:24.7%、R3:28.2%)。これは、コロナ禍で対面での就職説明会が自粛される中、当校への学校訪問を実施していただいたことによるものと推測している。

(以上)

# 学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	北海道小樽水産高等学校
訪問日	2025年 2月27日(木)
訪問者 4社、5名	松本(大四マリン)、荒崎(TSマリン)、木下、長田(鶴見サンマリン)、 藤澤、西堀(幸洋汽船)、諸見(昭和日タンマリタイム)、 伊勢(NSユニテッドタンカー)、多田、渡邊(英雄海運)、和泉(和泉海運)、 千守(興栄海運)、萬屋(デュカム)、山口(本部事務局)計10社14名
学校側面談者	亀山校長、菊池進路指導部教諭、村上海洋漁業科主任教諭ほか、
実施事項	○(1)学校側懇談 ○(2)学生懇談

## 懇談・意見交換概要

◎集合 2階会議室 13:00

◎先生との懇談(2階会議室) 13:05~14:05 亀山校長含む9名

内タン事務局、校長からそれぞれ冒頭挨拶及び現況説明

学校側説明:

### 取得できる資格等

海洋漁業科 5級海技士(航海)筆記免除、免許講習修了、第二級海上特殊無線技士

本科 定員 40名 G(漁業コース)乗船履歴あり、専攻科進学可能

K(海洋コース)短期乗船実習(約20日)のため乗船履歴なし

専攻科 定員 10名 三級海技士(航海)筆記免除、免許講習終了、ECDIS講習終了

船舶衛生管理者取得、第1級海上特殊無線技士取得

### R6年度海洋漁業科在籍人数

学 年	漁業コース	海洋コース	合 計
本科1年	21	4	25
本科2年	17	3	20
本科3年	21	10	31
専攻科1年			5
専攻科2年			5

### R7年入学者

専攻科1年 10名

### R6年度本科卒業生進路

就職21名中内航タンカー2名、専攻科3名、小樽海技短大4名

R6年度専攻科修了生進路 就職5名中内航タンカー1名

### 海技資格(航海)取得状況

3年生 3級筆記 1名

4級筆記 4名 4級筆記科目合格 1名(2科目)

専攻科1年生 3級筆記 1名 3級科目合格 2名(1科目)

専攻科2年生 3級筆記 5名(試験自力合格)

2級筆記科目 4名(3科目1名 1科目3名)

事業者全社からそれぞれ学校に対し質問し、丁寧な応答があった。

特に、漁船への就職者が増えているのは船内環境の改善が一因である可能性ありとのこと。

### ◎生徒との懇談（2階多目的室）本科2年生20名

事業者、生徒それぞれ2グループに分け、約25分毎に交代して意見交換を実施した。

事前に、①参加各社紹介資料冊子、②内航タンカーはいま、若い力を求めています。③内航タンカー現況を生徒に配布した。

各グループとも最初に各社の自己紹介のあと配布資料を交え内航タンカーについて説明、生徒との質疑応答を行った。漁船志望の生徒が多くタンカー志望は3名であった。

#### 生徒からの質問（抜粋）

- ・本科を卒業して4級の免許を持っていた場合、どのぐらいの年収ですか？
- ・資格は何か必要ですか？
- ・当直時間は4時間を2回ですか？
- ・タンカー船の魅力は？
- ・タンカー船で大変なことは何ですか？
- ・月の航海数はどのくらいですか？
- ・月の給料はどのくらいですか？
- ・船酔いは慣れるものでしょうか？
- ・どのような人材が欲しいですか？
- ・逆に採用したくない人は？
- ・船内は禁煙ですか？
- ・船内で辛いと思うことは？
- ・賄いのご飯は美味しいですか？





# 学校訪問報告書

学校名	岩手県立宮古水産高等学校
年月日	令和6年11月21日 14:00～16:00
訪問者	藤澤（幸洋汽船）、入夏（明和タンカー）、外城（英雄海運）、新井（ショクタンカー）、岩永（浜崎海運）、 萬屋（デュカム）、向井（三重海運）、櫻庭（旭タンカー）、伊勢（NS ユナイテッドタンカー）、加藤（昭和 日タマリタイム）、土井（三興運油）、山岸（鶴見サマリソ）、重信（日本カスライン）、澁（事務局）
学校側	畑川総務課主任、大場実習教官
実施事項	(1) 生徒全体説明（専攻科1年生5名） (2) 先生との懇談

## 懇談・意見交換概要

(先生との懇談概要)	
<input type="checkbox"/> 内航タンカーの現況説明	
<input type="checkbox"/> 宮古水産校の現況	

- ・学校応募者…生徒数は、受験者数減で非常に厳しい状態。専攻科5名のうち、山形加茂水産から2名、茨城海洋高校から1名を推薦してもらった。
- ・就職状況…（専攻科8名）RORO船4名、タンカー2名、タグボート1名、その他1名。  
（本科船舶コース3年生）進学3名、水産大1名、普通大学1名、就職1名、陸上就職1名。
- ・専攻科5名は、内航商船希望4名、漁船か内航商船希望1名であるが、まだ迷っている。
- ・3級海技士免許を取っての卒業を目指しているが、無理でも最低4級は取らせたい。
- ・違う環境で辞めていかないように、現場では褒めて伸ばし、育ててやってほしい。

(生徒との懇談概要)	
<input type="checkbox"/> DVDで内航タンカーしごと説明	
<input type="checkbox"/> 出席各社の紹介	
<input type="checkbox"/> 生徒との懇談で次の質問	

- (1) 船内休日の過ごし方は？ 仮バースの1日でプチ旅行をしたり、釣りやゲームをしている者もいるが、過ごし方はまちまちである。
- (2) 1隻当たりの定員は？ 5,000KL積で12～14名。1,000KL積で5～7名。あとは、大きさや船種によって異なってくる。
- (3) 海技士免許以外に必要な資格は？ 上級職員になると危険物の資格が必要となるが、初めは必要ない。
- (4) 船で働く上で必要な物は？ ヘルメットや作業服等、作業に必要な物は会社から支給され、作業服は、夏用・冬用がそれぞれ1年毎に支給される。食事も全て支給される。
- (5) 司厨長が乗っている船の違いは？ 毎3食、栄養バランスを考えた食事が提供され、味も満足するものである。乗っていない船では食料金が渡され、自己調達となる。
- (6) バースに着けての休みは？ 空船の状態では月に最低1～2度程度、バースに着積しての休みがある。その際に、必要な買い物等ができる。
- (7) 入ってからの研修は？ 入社式を行い、一般研修や技術研修を行う所や外部の研修機関に派遣して行く会社もある。船内では、当面先輩に付いての研修となる。
- (8) タンカーのアピールポイントは？ タンカーは、エネルギー輸送という日本の大動脈を担っているという自負を持って日々仕事をしている。  
また、他の船種に比べて、手当も含め給料が高いのが魅力である。

### (全体の感想)

学校全体に生徒が少ないせいか、静かな感じであり、出席した生徒も少なかったが、まじめな態度であり、積極的に質問をして、タンカーへの就職に対し、興味も感じられた。専攻科1年で就職のことを真剣に考えている様子が見受けられた。学校、生徒共に好印象であった

以上

# 学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	茨城県立海洋高等学校
訪問日	2025年 2月14日(金)
訪問者 4社、5名	藤澤敏則(幸洋汽船株)、向井崇大(三重海運株)、小野田真宏(株六甲船舶)、 本多昭博(株六青和 SHIPPING)、山口孝次(本部事務局)
学校側面談者 8名	岡田浩(校長)、工藤直美(教頭)、奥原直之(進路指導主事)、住谷正敏(教諭・実習船 運航部)、北條篤史(教諭)、阿萬直人(教諭)、山田健太郎(教諭)、沼倉翔平(教諭)
実施事項 (○)	○(1)学校側懇談 ○(2)生徒懇談 (3)個別就職相談 ○(4)懇親会

## 懇談・意見交換概要

- ・参加者玄関集合(09:30)
- ・生徒への業界説明と懇談(09:50~11:50)を実施
- ・教職員との懇談(12:00~13:00)を実施

### ◎生徒への業界説明

参加者生徒 2年生 15名、教職員8名及び父兄1名が後部で視聴

最初に内タンDVD(内航タンカーはいま、若い力を求めています)を上映、その後、参加各社から自己紹介を行った。

事前配布していた資料とともに、事務局から内航海運、内航タンカーについて現況を説明した。

その後、時間の許す範囲で質疑応答を行った。約2時間、質問が途切れることなく懇談できた。

生徒から出された主な質問

- ① 給料・手当について
- ② 在学中に取るべき資格
- ③ 荷役について
- ④ 在籍長短の状況と考えられる理由等
- ⑤ ピアス、タトゥーについて

最後に内タン側から内航タンカーに興味を持ったかについて聞いたところ、約半数が挙手をした。

### ◎教職員との懇談

同一会場にて弁当を取り寄せ会食をしつつ積極的な意見交換を行った。

同校も入学者の確保に苦慮している状況が伺えた。



以上

## 学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	神奈川県立神奈川海洋科学高等学校
訪問年月日	令和 6年12月23日 14:00～16:00
訪問参加者	藤澤(幸洋汽船株)、奥原・荒崎(TSマリン株)、佐藤(浪速タンカー株)、野村(旭タンカー株)、土井・土井(三興運油株)、長田(鶴見サンマリン株)、上田(玄海汽船株)、小野田(株六甲船舶)、外城(英雄海運株)、浜崎(浜崎海運株)、竹駒(昭和日タンマリタイム株)、本多(株六青和 SHIPPING)、萬屋(株デュカム)、向井(三重海運株)、目次(本部事務局)
学校側面談者	澤村先生、秦先生ほか
実施事項	① 先生との懇談 ② 生徒との懇談(2年生12名、1年生7名)

### 懇談・意見交換概要

#### (先生と最近の就職状況懇談)

- ・昨年の本科生10名就職、うちタンカー会社4名就職
- ・ここ10年で、タンカー会社に40名以上が就職
- ・就職は、漁船が2割、フェリー等が数名、タンカーは稼げるとの評判が良い
- ・専攻課には、デッキ10名、エンジン7名が在籍
- ・本科卒業生は、STCWの要件を満たす
- ・本校、無料船員紹介の資格があり、求人票は運輸局の受付印が無くても提出可能
- ・求人票は、専攻課6月、本科7月に開示するが、前年の求人情報は学生が常時参照可としている
- ・元学生(就職後の離職者)が学校に相談に来るので、その際は就職受入の相談にのって欲しい
- ・担当先生2名は、元船乗りであり、県内唯一の海技士養成校で異動が無く、継続的な関係の維持が可

#### (学生との懇談会)

- ・学生は、就職面談スタイルで個別企業と直に説明を聞くことを希望しているとのことで、急きよ、参加会社の個別ブース形式を採用し、学生1～2名が5分間隔で各社を順番に回り、各社から業界、会社概要、船員の仕事を説明した(下記画像参照)



- ・本面談スタイルは効果的であると好評であったが、場所が狭く他社の声と重複し聞こえづらい、時間にもう少し余裕が欲しかったとの希望(反省点)が出された
- ・専攻科生は、現在乗船中のため、本日のような企業と学生の面談形式を4月以降に再度開催を依頼

以上

# 学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	愛知県立三谷水産高等学校
訪問年月日	令和 6年10月24日
訪 問 者	(東海支部) 松浦 (幸福船舶(株)) 仲野 (東海タンカー(株)) 高橋 (事務局長) (関西支部) 齋藤 (上野ロジケム(株)) 磯合 (三興海運(株)) 木村 (木村海運(株)) 夏本 (有オリエントシップ) 白石 (白石海運(株)) 小林 (田渕海運(株)) (一般参加) 小野田 (株六甲船舶) 萬屋 (株デュカム) 松本 (大四マリン(株)) 佐藤 (浪速タンカー(株)) 向井 (三重海運(株)) 岩永 (浜崎海運(株)) 櫻庭 (旭タンカー(株)) 上村 (事務局長)
学校側面談者	山本校長 井谷教頭 沓澤先生
実施事項	○(1)生徒全体説明 ○(2)学校側懇談

懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)

◎生徒への出前授業 (13:40~14:40)

参加者生徒 2年生 17名 (海洋工学コース)

13:30より 出前授業

各参加会社 自己紹介 (会社名・氏名・所有船舶等)

13:40 3グループに分かれ、30分ずつのグループトークングを実施

1グループ 松浦様・仲野様・小野田様・榎井様・松本様・櫻庭様

2グループ 磯合様・木村様・白石様・萬屋様・佐藤様

3グループ 齋藤様・夏本様・小林様・岩永様・向井様

- ・漁業関係への就職を希望する生徒、エンジニアを目指す生徒、専攻科へは、3名。  
まだ決まっていない生徒もあり、個々の生徒にとりあえず、船員も就職の  
選択肢の一つとしてほしいと話をした。
- ・一人の女子生徒は、専攻科に進学し、4~5年実務経験(船社に就職)後、母校の教職  
につきたいとの夢があり、先生とも相談をしながら、将来像を描いている生徒もいた。
- ・海技免状の優位性や貴重であることを説明。
- ・陸上就職した後でも、海技免状を生かした仕事に再就職できる事を説明。
- ・食事に関して、船の規模にもよるが、大きな船には、司厨員が乗船、  
小型船は、自分で調理が多い。
- ・本科卒業時に船員になろうと思っておりますか?との質問に対し、  
1名タグボート会社に就職希望。
- ・内航船では、船員経験にブランクがあつたとしても、各社人員を求めていますので、  
相談してください。

- ・人間関係が難しいのは、船員だけではない、生活空間と仕事場が一緒なので、そう思われるが、陸上の会社であっても、人間関係の問題がゼロではないので、船内が特段厳しいと思っていない。
- ・休暇下船時には旅費の全額支給
- ・毎日家に帰りたいければ、平水船に就職すれば、日帰りの船もあると説明。  
(例 4日乗船2日休暇・朝は早い、日帰りの船もある。)

現代の若者は、一つの会社で頑張ろうという事ではなく、その都度何をしたいかで、状況が変わるものだと認識したうえで接し、短い期間でも受け入れることを視野に入れていかないといけない事を実感した。

出来れば、訪問学校の卒業生を同席して、その船員（先輩）より、実体験談をお願いした方がいいのではと実感した。

◎先生との情報交換 (12:50~13:30)

湯藤校長 長谷川教頭 井谷教頭 沓澤先生 大須賀先生との意見交換会 実施。

松浦支部長挨拶の後、情報交換

専攻科の進路状況 航海 4名 船舶関係へ就職  
 機関 4名 船舶関係へ就職  
 本科 機関 1名 大阪フェリーへ就職  
 陸上就職者 全体の65%

専攻科へ進学 航海 4名 機関 4名

本校 海洋科学科 海洋 漁業 工学 夫々 20名定員 定員割れの状況

(ここ数年)

中学校卒業時に船員になりたいとの希望で、本校に進学する生徒が、増えてきた。

生徒の将来的希望 就職時に求めるもの、

① 職場環境 (人間関係)

② 勤務体制 3ヶ月で1か月休暇を 乗船期間を短く

職場環境については、大手より、小型の会社の方が対応しやすいのではと、感じた。

# 学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	三重県立水産高等学校
訪問年月日	令和 6 年 1 2 月 9 日
訪 問 者	(東海支部) 松浦 (幸福船舶株) 仲野 (東海タンカー株) 新浪 (青峰海運株) 高橋 (事務局長) (関西支部) 齋藤 (上野ロジケム株) 木村 (木村海運株) 小林 (田渕海運株) 夏本 (有オリエントシップ) (一般参加) 松本 (大四マリン株) 中村 (株六甲船舶) 櫻庭 (旭タンカー株) 上村 (事務局長)
学校側面談者	谷奥校長 谷口先生 中村先生 佐々木先生
実施事項	○(1)生徒全体説明 ○(2)学校側懇談

懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)

◎先生との情報交換 (13:10~13:40)

本科 3年生 船舶関係 4名 (海上土木3名 タグボート1名)  
専攻科 漁船 2名 タンカー 2名 フリー 2名 県取締り船 1名  
本科から専攻科進学が10名程度  
本科 就職は、三重県内が多数 東京本社の船員数名  
陸上では、製造業が多い また漁船希望も多い

本校 定員割れの状況

県外からの受け入れは、量が廃止になったので、近くの下宿で、対応。

◎生徒への出前授業 (13:45~15:35)

参加者生徒 専攻科 14名  
3年生専攻科進学希望 9名  
2年生 海洋科 12名 機関科 14名

13:45より 出前授業

各参加会社 自己紹介 (会社名・氏名・所有船舶等)

13:55 4グループに分かれ、20分ずつのグループトークを実施

1グループ 松浦様・木村様・中村様  
2グループ 仲野様・小林様・櫻庭様  
3グループ 新浪様・夏本様・  
4グループ 齋藤様・松本様

- ・専攻科 14名 (女子 1名)
- ・3年生専攻科進学希望 9名
- ・2年生海洋科 12名 (女子 1名)
- ・2年生機関科 14名 (女子 1名)

専攻科 タンカー乗船希望 2名  
 3年生 (専攻科希望) フェリー2名 自動車運搬船1名 タグ 1名  
 水上警察 or タグ1名 検討中3名  
 2年生海洋科 船員希望8名 (専攻科進学予定) 内タンカー希望1名  
 船員希望は3か月乗船問題なし7名  
 未定 4名  
 2年生機関科 船員希望2名 (専攻科進学予定) 3か月乗船問題なし2名  
 船員なろうかな? 6名 未定4名

◎グループトークキングで生徒から出された質問内容 (抜粋)

- ・外航船と内航船の作業の違いは何ですか
- ・乗船期間は、どれくらいですか
- ・船員から陸上勤務になったのはなぜですか
- ・船に和解船員は多いですか
- ・船内の食事環境はどんな感じですか
- ・タンカー船できつい仕事は何ですか
- ・職員になるのはどれくらいかかりますか
- ・書類作業はたくさんありますか
- ・甲板・機関でどちらの方が人材を求めていますか
- ・船での出会いはありますか
- ・この仕事できついと思うことは何ですか

以上のような質問に対し、各社が回答を行った。

## 学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	富山県立滑川高等学校		
訪問年月日	令和 6年11月11日		
訪 問 者	(関西支部) 齋藤 (上野ロジケム(株)) 松波 (榑辰巳商会) 小林 (田渕海運) (一般参加) 仲野 (東海タンカー(株)) 佐藤 (浪速タンカー(株)) 土井 (三興運油(株)) 久保山 (幸洋汽船(株)) 上村 (事務局)		
学校側面談者 (氏名・役職)	佐藤先生		
実施事項 (○印)	○(1)生徒全体説明 ○(2)学校側懇談 (3)個別就職相談 (4)懇親会		
懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)			
<p style="text-align: center;">◎生徒への出前授業 (13:20~15:00)</p> <p>参加者生徒 2年生 25名 (3名欠席)</p> <p style="text-align: center;">4班に分かれて、グループトークを実施</p> <p>1 グループ 齋藤様</p> <p>2 グループ 松波様・久保山様</p> <p>3 グループ 小林様・佐藤様</p> <p>4 グループ 仲野様・土井様</p> <p>船員の認知度が低く、将来の志望がない学生が多数なので、主に船員職業の魅力を伝えた。また、本校は船員養成施設ではないので、JMETS進学を進めた。</p> <p>質問としては、・船酔いが心配。・危険作業が多いのでは、</p> <p>・必要な資格は何ですか？</p> <p>等の質問が出され、詳しく説明がなされた。</p>			
訪問時の 求人数	0 (人)	訪 問 経 費 (内タンへの請求金額 ・領収書添付)	(円)

## 学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	福井県立若狭高等学校
訪問年月日	令和 6年10月30日
訪 問 者	(関西支部) 夏本 (有オリエントシップ) 木村 (木村海運株) (一 般) 萬屋 (株デュカム) 佐藤 (浪速タンカー株) 上村 (事務局)
学校側面談者	橋本校長 毛利先生
実施事項	○(1)生徒全体説明 ○(2)学校側懇談
懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)	
<p>◎先生との情報交換 橋本校長先生と毛利先生との情報交換会 実施。 橋本校長先生より、 海洋科学科には、入学希望者が多く (1.3倍) 普通科は定員割れしている状況。 海関係に、興味を持って入学してきた生徒が多く、船員のなろうとする生徒も含まれていると思われるので、仕事内容などの説明をお願いしたい。 毛利先生より 船員・船舶へ興味のある生徒のみの参加である。 船会社の方からの「生の声」が聴けるのでこの会の方が重要位置づけ今後もお願いしたいとのこと。</p> <p>◎生徒への出前授業 (9:40~11:30) 参加者生徒 2年生 20名・21名の2クラス 41名 3年生 海技短大進学 (男1名女1名) (清水海技短大) 各クラス 2グループに分かれ、グループトークキングを実施 1グループ 木村様・佐藤様 2グループ 夏本様・濱岡様</p> <p>まず、海技短大に進学予定の生徒に海技短大への進学志望動機を説明願った。 話の内容から、インターンシップで乗船経験をしたことによる、とのこと</p> <p>グループトークキングで生徒からの質問が少ない状況であったので、 それぞれ船員・船の仕事について説明を実施。</p> <p>本校は、小型船舶操縦士の資格が取れるため、その資格に見合った職場を提供できるが、 海技免状取得を 目指して、海技短大への進学を進めた。 また、そのままその資格に見合った職場もあることを伝えた。 内航船舶への乗船希望者は海技短大へ進学して、4級の海技士免状取得し、内航船の 船員になってもらいたい旨 説明。</p>	

また、生徒からの質問

- ・ 船には、何人乗船しますか
- ・ 女性も乗れますか
- ・ どのような資格が必要ですか

○海技短大へ進学を決めた学生に質問（なぜ船員になりたいと思ったのですか？）

- ・ 船乗りが格好いいと思ったから。
- ・ 働き方に魅力を感じたから といった回答であった。

◎所感として

- ・ 海技短大進学希望者を増やすように説明を今後とも実施するように思料する。
- ・ 海洋科学科の生徒であっても、船員という職業にあまり興味がなく、海洋関係の仕事に従事したいと漠然と考えている生徒が多かったように思われる。

## 学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	京都府立 京都海洋高等学校
訪問年月日	令和 5年 5月13日
訪 問 者 (氏名・社名・役職 ・別紙添付も可)	夏本清和 (有オリエントシップ) 木村美幸 (木村海運(株)) 野末弘毅 (上野トランステック(株)) 小林武史 (田渕海運(株)) 上田雄士・岡村俊希 (株辰巳商会) 萬屋彩子 (株デュカム) 武川行介 (旭タンカー(株)) 野間司 (株エスワイプロモーション) 本多 (六青和 SHIPPING(株)) 濱岡伸豪 (甲斐機械株) 吉原邦人 (株六甲船舶) 上村良 (関西支部 事務局)
学校側面談者	伊藤先生
実施事項 (○印)	○(1)生徒全体説明 ○(2)学校側懇談 (3)個別就職相談 ○(4)懇親会
懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒への出前授業 (10:40~12:30) を実施</li> <li>・先生との懇談内容 (12:35~13:10) を実施</li> </ul> 詳細については、別添記載	

◎生徒への出前授業 10:40~12:30

参加者生徒 3年生 12名 (2名欠席)

同校の卒業生(株辰巳商会の船員である岡村俊希氏より、

- ・タンカー船員の仕事
- ・休暇体制・仕事内容
- ・労働環境などについて説明。



10:50より4グループに分かれグループトークを実施。





#### ◎生徒からの質問などについて

- ・ 船内生活で、人間関係以外で大変なことは、何ですか？
- ・ ケミカル製品について
- ・ 五級海技士は、どの役職までいけますか？
- ・ 荷役作業について
- ・ 就職する会社を選択するポイントについて
- ・ 労働時間（当直時間）について
- ・ 乗船中に上級の免状または、航海士に必要な資格を取得しようと思うが、乗船中に勉強はできますか？
- ・ 乗船中に休息時間は、船員さんはどのように過ごされているのですか？
- ・ 三等航海士には、何年ぐらいで昇格できますか？

#### ◎卒業生の岡村氏に対する質問

- ・ 会社に入社して、商船に乗船した時の感想を聞かせてください？
- ・ 年上の人とうまく付き合うコツを教えてください。
- ・ 職員登用に要する年数など
- ・ タンカーは、荷役を全員で行うと聞いているが、荷役時間は労働時間外ですか。

各質問に対し、グループごとにおいて各社での対応や実績など説明がなされた。

#### ◎生徒と対しての所見

- ・ 全体的な評価は、良
- ・ 話を聞く態度、姿勢の問題はなく、全学生平均的に質問がなされた。
- ・ 先生方の教育・指導が行き届いている印象を受けた。
- ・ 卒業生の参加により、実際の経験談が聞け、生徒も興味深々と聞いていた。今後も、卒業生が参加可能であればお願いしたい。
- ・ インターンシップのさいに乗船したフェリーやタグボートに就職希望をする学生が多いので、タンカーも受け入れる体制を整えるよう検討が必要。
- ・ 就職希望者が増えている状況で、船会社により、さまざまな、給与体制や労働環境が違うので、先生にしっかり質問の上決定願いたいと実感。

## ◎先生との情報交換

12：35～13：10

高木先生・伊藤先生

当日出席の進路希望について

参加者12名中 就職希望者8名

内航船5名（タンカー2名、タグボート2名フェリー1名）

海上自衛隊2名

漁船1名

進学希望者 4名 海技短大への学校推薦は4級海技士（筆記）取得者を優先し、推薦しているとのことであった。

- ・海上就職希望者が、多くなっている傾向
- ・本校にいる間に取得可能な資格は貪欲に取得することを進める。

先生からは、最近の学校を取り巻く環境、本校への進学状況について説明があった。



# 学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	京都府立 京都海洋高等学校
訪問年月日	令和 6年10月 9日
訪 問 者	(関西支部) 斎藤 (上野ロジケム株) 夏本 (有オリエントシップ) 木村 (木村海運株) 小林 (田渕海運株) 上田・岡村 (玄海汽船株) (一般参加) 萬屋 (株デュカム) 本多 (株六青和 SHIPPING) 濱岡 (甲斐機船株) 野間 (株エスワイプロモーション) 小野田・中村 (株六甲船舶) 佐藤 (浪速タンカー株) 平野 (株エムエスケイ) 上村良 (事務局)
学校側面談者	高木先生・伊藤先生
実施事項 (○印)	○(1)生徒全体説明○(2)学校側懇談 (3)個別就職相談○(4)懇親会
懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・同校卒業生 船員の仕事の概略説明 (岡村様) (9:50~10:10)</li> <li>・生徒への出前授業 (09:50~11:50) を実施</li> <li>・先生との懇談内容 (12:00~12:30) を実施</li> </ul> <p>◎生徒への出前授業</p> <p><b>09:50~11:50</b></p> <p>参加者生徒 2年生 13名</p> <p>同校の卒業生(株辰巳商会)の船員である岡村俊希様より、タンカー船員の仕事・休暇体制・仕事内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・労働環境などについて説明。</li> </ul> <p>10:10より4グループに分かれグループトークを実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出身中学 京都府11名 (舞鶴・綾部・宇治・亀岡・京都市・与謝野町京丹後) 大阪1名 兵庫1名</li> <li>・希望の船種 タンカー・貨物船・コンテナ船・フェリー・タグ</li> <li>・その他 鉄道 未決定</li> </ul> <p>◎生徒からの質問などについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給料面に関して (趣味と家族を養えるくらいの給料?) ・船内の暮らしやすさ</li> <li>・休暇体制 ・インターネット環境 ・船内環境 ・福利厚生が整っている会社は</li> <li>・必要な資格について ・就職する会社を選択するポイントについて</li> <li>・各港で遊びに行けますか? ・1航海の日程は?</li> <li>・甲板部と機関部ではどちらが昇格するのが早いですか?</li> </ul> <p>各質問に対し、グループごとにおいて各社での対応や実績等説明がなされた。</p> <p>◎先生との情報交換</p> <p>12:00~12:30 高木先生・伊藤先生</p> <p>同校3年生の進路状況について</p> <p>内航商船 6名 (タンカー4名 タグボート1名 フェリー1名)</p> <p>海上自衛隊2名 漁船1名</p> <p>進学希望者 大学・専門学校2名 海技短大3名 合計14名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海上就職希望者が、多くなっている傾向</li> <li>・本校にいる間に取得可能な資格は貪欲に取得することを進める。</li> </ul> <p>先生からは、最近の学校を取り巻く環境、本校への進学状況について説明があった。</p>	
以上	

## 学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	島根県立境港総合技術高等学校
訪問年月日	令和 7年 3月 19日
訪 問 者	(関西支部) 斎藤 (上野ロジケム株) 夏本 (有オリエントシップ) 木村 (木村海運株) 白石 (白石海運株) 上村 (事務局)
学校側面談者	株さんぼう による就職ガイダンス形式
実施事項	○(1)生徒希望者に説明

### 懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)

株さんぼう による 就職ガイダンス 形式にて 1年生・2年生の希望者に対し、3回の説明を実施。

各グループとも 斎藤氏より、概略説明

- ・タンカーについて
- ・船員の仕事について

#### 1 グループ

- ・タンカー船を知っているか 全員理解している
- ・働くというイメージがわからない
- ・長期乗船は我慢できない
- ・命を落とすことはありますかとの質問に タンカーは安全基準が厳しいので、命を落とすことは少ない。乗船前にしっかり安全教育は実施するので安心願いたいと説明

#### 2 グループ

- ・船員という職業を十分に認識しているようで 内航船員希望3名 海上保安部 1名 海技短大進学 2名 その他 2名
- 質問がなかったので、タンカー船の魅力・内航海運の重要性・船員法に守られ、労働条件も良くなっている状況 安定した給料の魅力の発信をした

#### 3 グループ

- ・機械科の生徒で、自動車整備等の希望者多数
- ・船の機械 (エンジン等) は島国日本だから海運業は衰退しないので、就職先はなくなる
- ・釣りがしたいので、船には乗りたくないという意見があったので、船員も釣りをしている状況を説明
- ・自家用車 購入希望者があるので、船員だとすぐ購入可能と説明

# 学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	島根県立浜田水産高等学校
訪問年月日	令和 6年 5月20日
訪 問 者 9社、10名	斎藤雄一（大光船舶株）川橋利明（甲子汽船有）木村美幸（木村海運株） 小林武史（田渕海運株）萬屋彩子（株デュカム）松本和成（大四マリン株） 野間 司（株エスワイプロモーション）櫻庭涼輔（旭タンカー株） 岸谷卓司（宮崎海運株）重信周平（日本ガスライン株）松井宏一郎（有正豊海運） 上村（事務局）
学校側面談者	山本先生（進路指導）
実施事項	○(1)生徒全体説明 ○(2)学校側懇談

懇談・意見交換概要（別紙添付も可）

- ・先生との懇談内容（18：30～20：00）
- ・生徒への出前授業（9：40～11：45）

**◎先生との情報交換 5月19日実施（18：30～20：00）**

山本先生との情報交換会 実施。

訪問実施者 3年生について 29名（航海15名 機関 14名）  
進学希望者 4名 就職希望者 4名（内 タンカー希望者 3名）

2年生進級時に 海洋コースと機関コースの何れかを選択する。

卒業時には、5級海技士の筆記試験免除（練習船による乗船履歴3ヶ月）

専攻科へ進学が可能となる。

令和5年度海上関係進路状況では、

専攻科 セメント船2名 RORO船3名 タグボート1名 曳船1名 外航貨物1名  
備蓄基地管理船1名 海外巻き網漁船1名

本 科 セメント船1名 RORO船1名 底引き網漁船1名 カニ籠漁船1名  
内航貨物船1名 内航タンカー船1名 資源調査船1名といった状況。

**◎生徒への出前授業 12月13日実施（09:40～11:45）**

参加者生徒 3年生 26名（航海コース13名（2名欠席）  
機関コース13名（2名欠席））

09：45より 出前授業

参加各社より、自己紹介を実施。

10：50 4グループに分かれ、20分ずつのグループトークを実施

1グループ 斎藤氏・松井氏・重信氏

2グループ 木村氏・野間氏・岸谷氏

3グループ 川橋氏・萬屋氏・櫻庭氏

4グループ 小林氏・松本氏

◎グループトークキングで生徒から出された質問内容（抜粋）

- ・必要な海技免状について
- ・休暇体制について
- ・船員は、学校の成績が悪くてもなれますか
- ・乗船時の私物の持ち込みについて
- ・荷役作業について
- ・タンククリーニング作業に必要な資格は？
- ・内航タンカー船には、Mゼロ船はありますか
- ・乗船中の怪我が怖いのですが、注意することは？
- ・内航船で、風呂とトイレは各部屋にそなえられているのですか？
- ・入社後に出会いはあるのですか？
- ・内航船は若い人が少ないのでは？
- ・内航船に必要な免状は？
- ・卒業後 5級の筆記免除でも活躍できますか？
- ・離職率はどの程度ですか？

グループごとに各社での対応及び状況について説明がなされた。



## 学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	島根県立浜田水産高等学校
訪問年月日	令和 6年 12月 2日
訪 問 者	(関西支部) 斎藤 (大光船舶(株)) 川橋 (甲子汽船(有)) 小林 (田渕海運(株)) (一般参加) 萬屋 (株デュカム) 松本 (大四マリン(株)) 宮野 (山本汽船(株)) 重信 (日本ガスライン(株)) 南田・中浜 (有正豊海運) 本多 (株六青和 SHIPPING) 上村 (事務局)
学校側面談者	山本先生 (進路指導)
実施事項	○(1) 生徒全体説明 ○(2) 学校側懇談

懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)

- ・ 先生との懇談内容 (18 : 30～20 : 00)
- ・ 生徒への出前授業 (9 : 40～11 : 45)

◎先生との情報交換 12月 1日実施 (18 : 00～20 : 00)

山本先生との情報交換会 実施。

今春の3年生 船員希望が多い状況

質問に関しても船員になるためにどうすればいいのか等との質問多い

今年の離職者は、2名は陸上に 1名タグからフェリーへ

離職理由は、環境の変化により病気になった。

人間関係と横のつながり

教員も若くなり、対応に厳しい状況となっている

インターンシップを多くしていただきたい (現状 フェリー1社のみ)

発達障害のある生徒が増えてきている (事前相談をする)

すそ野を広げたく、中学校へも情報提供をしているが難しい状況 (定員割れ)

そのため 中学校に講演会を実施している

## ◎生徒への出前授業 12月3日実施 (09:50~11:55)

参加者生徒 2年生 19名 (航海コース10名 (女子1名)  
機関コース 9名

09:40より 出前授業

参加各社より、自己紹介を実施。

09:55 4グループに分かれ、20分ずつのグループトークを実施

1グループ 斎藤氏・宮野氏

2グループ 小林氏・南田氏・萬屋氏

3グループ 川橋氏・松本氏・

4グループ 重信氏・本多氏・中浜氏

生徒に出身 島根県内 13名 県外 6名

卒業後の進路 専攻科進学 7名 就職 9名 大学進学 2名 未定 1名

将来船員にと 15名 未定 4名

## ◎グループトークで生徒から出された質問内容 (抜粋)

- ・海技免状の重要性
- ・給与水準 (本科卒と専攻科卒との違いについても)
- ・女性用設備の有無
- ・WIFI (インターネット) 環境について
- ・荷役作業について
- ・タンカー船の メリット・魅力・入港する港 について
- ・1日の仕事内容について
- ・乗船中のモチベーションについて
- ・司厨士は乗っていますか。 大型船は乗っているが小型船はいない船が多い。
- ・会社として求められる人材は、
- ・機関部の仕事について
- ・コンテナ船に船員として乗船するための資格について
- ・乗下船時に私物は運ばないといけないのですか
- ・同じ会社でも、色々な違う船に乗船しなければいけないのですか

グループごとに各社での対応及び状況について説明がなされた。

# 学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	島根県立隠岐水産高等学校
訪問年月日	令和 6年 9月24日
訪 問 者	(関西支部) 木村 (木村海運(株)) 横田 (横田海運(有)) 小林 (田渕海運(株)) 野末 (上野ロジケム(株)) (一 般) 萬屋 (株デュカム) 松本 (大四マリン(株)) 濱岡 (甲斐機船(株)) 櫻庭 (旭タンカー(株)) 榊井 (国華産業(株)) 佐藤 (浪速タンカー(株)) 平野 (株エムエスケイ) 藤澤・藤澤 (幸洋汽船(株)) 上村 (事務局)
学校側面談者	青山校長 本田先生 荒川先生
実施事項	○(1)生徒全体説明 ○(2)学校側懇談

懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)

◎生徒への出前授業 9月24日実施 (13:20~15:30)

参加者生徒 2年生 21名 (海洋テクノコース11名 海洋エンジニアコース10名)

13:20より 出前授業

参加各社より、自己紹介を実施。

13:50 4グループに分かれ、20分ずつのグループトークを実施

1グループ 木村様・榊井様・濱岡様

2グループ 横田様・佐藤様・藤澤様

3グループ 小林様・萬屋様・櫻庭様

4グループ 野末様・松本様・藤澤様・平野様

2年生の出身地域及び進路希望

出身地

海洋テクノ 隠岐 2 島根 4 大阪 2 神戸 I 茨城 1 群馬 1

海洋エンジニア 隠岐 6 大阪 1 神戸 1 岐阜 1 神奈川 1

進路希望

船に乗りたい 11名

(タンカー2 フェリー1 タグ3 自動車運搬2 漁船2 未定1)

船以外 8名

進学 1名 (専攻科)

◎グループトークで生徒から出された質問（抜粋）

- ・船の大きさにより、仕事量は違いますか。
- ・いろいろなトン数の違う船がありますが、その違いは何ですか。
- ・当直体制はどのような感じですか。
- ・昇進の基準は何ですか。
- ・船での食事は、どのような感じですか。
- ・入社後の髪型は自由ですか。
- ・当直以外ではお酒を飲むことができますか。
- ・何歳ぐらいの方が多いですか。
- ・乗船サイクルはどれくらいですか。（質問の本人は、長期乗船希望）
- ・タンカーの種類と違いは何ですか。
- ・求人票に記載されている給料から減ったりはしますか。
- ・新人船員は最初何の仕事を行いますか。

以上のような質問があり、それぞれの質問に対し、詳しく説明をいただいた。

◎先生との懇談内容

先生との情報交換

大門先生・福田先生との情報交換会 実施。

本科3年生（海洋 8名 機関 2名）の進路状況は、

大学進学 4名 船員 4名（タグ 1 RORO 1 ガット2）  
一般 2

上級海技士免状を目指す生徒が多い。

2年生進級時に 海洋テクノコースと海洋エンジニアコース を選択する。

3年卒業時には 就職 専攻科進学 大学などへの進学と別れる。

専攻科へ進学が可能となる。

求人については、1000社以上あり、50社～60社程度海運関係の求人がある。

## 学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	山口県立大津緑洋高校
訪問年月日	令和7年3月17日（月） 10:10～12:00
訪 問 者	薄墨（西部支部）
学校側面談者	進路指導部 鳥枝教諭
実施事項	①ガイダンス参加（1年生39名）

懇談・意見交換概要（別紙添付も可）

### （ガイダンスの概要）

漁業・建設業・運輸業・卸売行・小売業・サービス業・公務員・進学などの業種が40社程度のブースを設置し、近隣の学校も参加する合同の進路ガイダンスとなっており、将来の進むべき方向性を探ることを目的として開催されました。

#### 1. 参加対象

1年生39名、2年生は乗船実習のため不参加



#### 2. 内容（時間割で巡回する形式）

1回目 10:10～10:30 （20分間）

2回目 14:10～14:30 （20分間）

3回目 14:40～15:00 （20分間）



#### 3. 全国内航タンカー海運組合ブース訪問者の状況

1回目 3名（進路未定）

2回目 2名（機関部希望）

3回目 4名（甲板部希望）

#### 4. 説明内容

- ・内航海運全般について、支部で作成した資料を配布しタンカー色を出しながら説明した。なお、資料には、学校訪問時に生徒さんから良くされる質問を参考として掲載した。
- ・時間の関係から動画などを見せることが出来ないため、訪問者全員に内航総連合会の「内航海運の活動」及び「What is 内航海運？」のパンフレットを配布した。

#### 5. 質問について

- ・タンカー船に乗るのにどのような資格が必要ですか。
- ・1隻に乗組んでいる船員さんは何名くらいか。

### (先生との懇談)

◆昨年度の卒業生の進路について

⇒40名中、船舶に就職が15名、進学が20名、陸上に就職が5名

◆今年度の内定状況について

⇒31名中、船舶に内定が10名、進学が15名、陸上に就職が6名

◆昨年度就職した生徒の定着状況は如何ですか。

⇒船舶・陸上を問わず離職しており、20名程度が既に離職をしている状況。離職理由は、やはり人間関係が多いようです。

◆今年の入試状況について

⇒募集定員25名に対して16名で定員割れとなっており、現在、二次募集をしているところ。

◆生徒が就職先を選択する基準や傾向を教えてください。

⇒生徒は、給料面や乗船期間、さらに、先輩が務めているかを重視しているようだ。

一方、保護者は、会社の規模などを気にしているようで、父兄も子供の希望を優先しているようです。

◆私どもは、やはり離職率が高いのを気にしている。求人票を見るだけでなく、就職協定に抵触しないよう生徒さんに多くの会社から話が聞けるような機会を持ちたいと思っている。例えば、WEBによる会社説明会などが出来れば良いと考えているが如何でしょうか。

⇒生徒が、いろいろな会社の話を聞いて会社を選択する方が良いと思うが、学校としてどのようにすれば良いか検討する必要があると思います。

# 学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	多度津高等学校
訪問年月日	令和 6年 12月 3日
訪 問 者	(関西支部) 磯合 (三興海運(株)) 上村 (田渕海運(株)) (一般参加) 萬屋 (株デュカム) 松本 (大四マリン(株)) 濱岡 (甲斐機船(株)) 土井 (三興運油(株)) 佐藤 (株アズーロジャパン) 岡 (旭タンカー(株)) 重信 (日本ガスライン(株)) 南田・中浜 (有正豊海運) 宮野 (山本汽船(株)) 本多 (株六青和 SHIPPING) 中村 (株六甲船舶) 上村 (事務局)
学校側面談者	岡先生 松村先生 松田先生
実施事項	○(1)生徒全体説明 ○(2)学校側懇談

懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)

・先生との懇談内容 (12:10~12:30)

・生徒への出前授業 (12:40~14:10)

**◎先生との情報交換 (12:10~12:30)**

岡先生 松村先生 松田先生

・3年生について タンカー希望 2名 船員希望 5名 専攻科進学希望 7名

・2年生は、活発な生徒が多い。

船の希望者 専攻科進学希望者 10名 船に卒業後就職希望 6名

専攻科の生徒(4級を取得し、3級を取得予定)は、ほぼ就職が内定している。

・生徒の進路意識・上級海技者資格取得状況については、

本科生については、陸上の場合は県内企業を希望する生徒が多く、本科から船舶関係に就職する生徒は、毎年5名前後、一昨年は少なく、昨年は平年並みに推移。

約7~10名が「海技資格の必要性を自覚し、上級免許取得のため、専攻科に進学

するが、昨年度は少なかった。乗船期間が短い会社(内航60日)を希望する生徒

が多い。求人票は、民間・官公庁船ともに増加傾向にある。

とのことであった。

**◎生徒への出前授業 (12:40~14:10)**

参加者生徒 2年生 25名 航海技術コース 11名

機関工学コース 14名

12:40より 出前授業

参加各社より、自己紹介を実施。

- 12 : 45      4 グループに分かれ、20分ずつのグループトークングを実施
- 1 グループ      磯合氏・松本氏・宮野氏
  - 2 グループ      上村氏・濱岡氏・南田氏・萬屋氏
  - 3 グループ      本田氏・土井氏・中浜氏
  - 4 グループ      佐藤氏・岡氏・重信氏・中村氏

◎グループトークングで生徒から出された質問内容（抜粋）

- ・給料は（手取り額及び年収）
- ・大型船と小型船の働き方の違いは、
- ・お金はたまりますか
- ・船に乗ってどのような仕事をするのですか
- ・船員室は個室ですか
- ・船の食事はおいしいですか
- ・揺れはありますか、大きく揺れるのですか
- ・女性は乗船していますか
- ・休暇の間隔はどの程度ですか
- ・家を離れて仕事をしたいのですが、住宅補助はありますか
- ・3か月乗船中働きっぱなしですか
- ・会社の寮はありますか
- ・船内生活環境はどのような感じですか
- ・船内の電波状況はどの程度ですか？

グループごとに各社での対応及び状況について説明がなされた。

学校が瀬戸内海に近いこともあり、大きな船や漁船に興味を持っている生徒が多い印象、8割の生徒が、具体的な船種に乗りたいとかではなく、ざっくり船に乗りたいといったよう状況。船員は給料が高い、お金が貯められるといったような印象が出て給料面に魅力を感じてくれたような多くいるような状況。

何を運ぶか・どんな船に乗りたいかよりも、給与面や船内環境・生活や食事等を重視しているような感じでした。ある生徒は、親に心配をさせたくないとの理由で、食事就職後の居住環境等について質問をしてくれました。

会社としても、どれだけサポートできるか福利厚生面も重要な就職選択の一つと実感した。

## 学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	高知県立高知海洋高等学校
訪問年月日	令和 6年 11月29日
訪 問 者	松波（㈱辰巳商会）上村（田渕海運㈱）木村美幸（木村海運㈱） 萬屋（㈱デュカム）松本（大四マリン㈱）重信（日本ガスライン㈱） 佐藤（浪速タンカー㈱）久保山（幸栄汽船㈱）本多（㈱六青和 SHIPPING） 千守・渡辺（興栄海運㈱）宮野（山本汽船㈱） 上村（事務局）
学校側面談者	本田先生 小豆先生（航海） 河内先生（進路指導）
実施事項	○(1)生徒全体説明 ○(2)学校側懇談
懇談・意見交換概要（別紙添付も可）	
<p>・ 生徒への出前授業（13：30～15：20）</p> <p>・ 先生との懇談内容（15：20～15：50）</p> <p><b>◎生徒への出前授業 11月13日実施（09:40～11:45）</b></p> <p>参加者生徒 2年生 航海 7名 機関 10名 食品 10名 専攻科 航海 2名 機関 4名</p> <p>13：30より 出前授業 参加各社より、自己紹介を実施。</p> <p>13：40 4グループに分かれ、20分ずつのグループトークを実施</p> <p>1グループ 松波氏・松本氏・千守氏 2グループ 上村氏・萬屋氏・渡辺氏 3グループ 木村氏・本多氏・宮野氏 4グループ 重信氏・佐藤氏・久保山氏</p> <p><b>◎グループトークで生徒から出された質問内容（抜粋）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 給料はどれくらいですか</li> <li>・ 海技免状は何級が必要ですか</li> <li>・ 会社のアピールポイントは何ですか</li> <li>・ インターンシップは実施していますか</li> <li>・ 乗船と休暇のサイクルは</li> <li>・ ハラスメントはありますか</li> </ul> <p>各社、ハラスメント対策指導はしているので、何かあれば会社に相談してください。</p>	

- ・各社の所在地はどこですか？
  - ・荷物は何を運んでいるのですか
  - ・司厨員は、募集をしていますか（食品科 生徒）
- ・学校に求人票がかなり来ていて、どのような会社を選ぶといいかわからない。  
自分が興味を持った会社があれば、会社訪問をしたり他社と比べたりし、よく調べること また司厨員については、大きな船を所有の会社を訪問し確認することをアドバイス

グループごとに各社での対応及び状況について説明がなされた。

◎先生との情報交換 (15:20～15:40)

本田先生・小豆先生・河内先生との情報交換会 実施。

本科 3年生について 専攻科進学希望 2名 一般大学 1名 海技短大 1名  
就職希望者 多数 内航希望者 3～4名

- ・生徒の就職先選択の一つとして 学校の先輩の入っている会社を希望する傾向が強い
- ・乗船実習終了後、船員に向いていないと判断する生徒と、船員になりたいと判断する生徒に分かれる。
- ・船を見る機会として、今治のドック見学をお願いしたりしている。
- ・海技者セミナー等には、参加していないとのこと。
- ・食品科の生徒で、司厨員を希望している生徒がいる。

## 学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	福岡県立水産高等学校
訪問年月日	令和6年8月21日(水) 13:00~16:30
訪 問 者	松本(雅)・松本(泰)(松盛汽船株)、野村(旭タカ株)、松井(株)松和汽船株)、上田(玄海汽船株)、佐藤(浪速タカ株)、小林(田湊海運株)、土井(三興運油株)、馬場林(シヨクタカ株)、藤沢(幸洋汽船株)、松本(大四マリン株)、林(祝林タカ株)、合田・宮崎(トクヤマ海陸運送株)、薄墨(西部支部)
学校側面談者	池浦教諭・高田教諭
実施事項	①生徒との懇談(2年生35名) ②先生との懇談

懇談・意見交換概要(別紙添付も可) ◆・➡は学校側、◇・⇒は企業側の発言を示す。

### 【生徒との懇談】

- ・DVD視聴
- ・各社自己紹介

### (生徒からの質問)

◆船内にはWi-Fi環境が整っているとの説明ですが、ネットフリックスなどを見る時間はありますか。

⇒仕事の合間とか当直が終わってから次の当直までの時間など、見る時間はあります。

◆船内での食事の内容ってどのようなものですか。

⇒司厨長が乗船している船では、食事の内容は色々ありますが、食事の量が多いので空腹を覚えることはありません。夜食も出ますし、年末年始などはおせち料理が出ます。

⇒司厨長が乗船していない船では、自分たちでご飯を作りますが、食費等は会社から支給されます。

◆就職してから資格を取りたいとなったらどれぐらいの休暇がもらえますか。

⇒海技免状取得には、2~3か月ぐらいかかるものもありますが、会社としてはサポートして行きます。

◆船員さんは長い間乗船しているので、女性との出会いとかあるのでしょうか。

⇒最近の若い船員さんに聞くと出会い系のアプリとか、地元の同窓会で出会うのが多いようです。

◆1度乗船するとずっと同じ船に乗るのか。それとも船を乗り換えることもあるのですか。

⇒基本同じ船に乗ります。ただ、乗組員の事情などにより、乗り換える場合もあります。

◆専攻科へ行って進学するのと高校を卒業して直ぐに就職するのとでは、どちらが良いですか。

⇒専攻科へ行って就職した方が良いと思います。理由は、上級の免状を取得したい場合、仕事をしながら勉強をするのは大変だと思います。また、就職時に3級が必要とする会社もあります。

◆実習船と実際に仕事で乗る船とで、何かギャップみたいなものがありますか。

⇒仕事で乗る船は、人数が少ないので作業するにも少人数でやらなきゃいけないという点が一番違う。

◆自宅から乗船地までの旅費や宿泊費は会社が出してくれるのか。

⇒支給しない会社はありません。また、面接時の旅費も会社が負担する場合もあります。

◆タンカー業界の良いところ・悪いところを教えてください。

⇒基本的に手当てが付くので給料が高い。安全第一を考えて運航するので、フェリーなどのように時間に



縛られない。夜間に入港したり荷役したりすることがない。ただ、荷役は船員自身が行わないといけない点が他の船種と違っている。他の船種と一番違うのは、安全に対する意識が高いことだと思います。ただ、危険物に関するルールを覚えなければいけないのが大変です。

◆会社が求めている人材はどのような方ですか。

⇒明るくて素直な人。コミュニケーション能力がある人。気になることは何でも尋ねてくれる人。船員さんからは、先生等に怒られた経験がある子の方が、船内では使いやすいという意見があります。

◇皆さんが魅力ある職場とは、どのような職場か教えてください。

→船内での食事が、美味しいことが一番大事。皆が仲良く自分の意見を話しやすい職場。年齢に関係なく皆が希望を持って活気がある職場。仕事の時とそれ以外の時とでメリハリがある職場。女性の場合、女性船員が複数乗船している職場。

◆新入社員に対してどのような研修をされるのですか。

⇒新入社員には社会人としての基本的なものをしっかり見つけていただく。その後、実際の業務に関する研修を受けてもらいます。

⇒小型船で、約2年間くらい定員外として乗り組んでOJTを経験させています。

◆これから乗船実習が予定されているが、どういう所を良く見ておいたら良いか。

⇒機関部は、機関日誌の書き方や燃料計算・配管の繋がり・見回りの際にどこを重点的に確認するか。また、甲板部は、ロープワークとチャートワークなどを重点的に学んでください。

◆外航船と内航船を比べて内航船の良い点を教えてください。

⇒内航船は、沿岸部を航行するのでインターネットが陸上にいるのと同じように使える点。

◆海技免状の他に何か取っておいた方が良い資格というのがありますか。

⇒必要な資格は、就職してから取れば良いです。車の免許は取っておいたら良いかもしれない。

◆タンカー船では、どのような点に気を付けていますか。

⇒一番気を付けているのは火気。火や静電気などに非常に気を付けています。

◇就職先について、忙しくて給料が高い船と、暇で給料が安い船どちらの船を選びますか。

→忙しくて給料の高い船と暇で給料の安い船・・・それぞれ半数ずつ

◇将来船に乗りたい人・・・全員

◇乗りたい船種が決まっている人・・・ほとんど未定

◇乗船期間が3ヶ月でも良い人・・・ほとんどの生徒が良いと回答

◆女性の方を採用されると思うんですけど、船内設備と違ってどういう風になってるのか。

⇒フロア全体を女性専用にしたり、お風呂も女性専用にしたり、浴室と洗濯場が一緒の場合には、入れないよう鍵を付けるなどの工夫をしています。さらに、部屋にバス・トイレが付いている船もあります。

◆初めて乗船する時にどのような心構えで乗船したら良いですか。

⇒怒られたことを気にしないこと。同じ間違いを繰り返さないようにすること。怒られて反省したら元気に明るくすること。苦手な人を作らないようにすること。

◆船内では、年齢幅も広いと思うが新卒者が入って、コミュニケーションが簡単に取れるものですか。

⇒コミュニケーションに関しては、正直苦手だなと思ってもしゃべらざるを得ないところはあります。機関部は特に人数が少なく行動範囲も狭いので、コミュニケーションを取らざるを得ない。

◆船内でストレスってどう発散するのですか。

⇒船内で食事パーティーを開いたり、筋トレ運動したり、部屋で動画を見たり、仮バースの時には買い物へ行ったりして発散しているようです。

◆休暇について教えてください。

⇒基本3ヶ月乗船で1ヶ月休暇のローテーションだが、休暇申請などにより休暇も請求出来るので、その時は乗組員のなかで調整するため、休暇のスケジュールが変わってくる場合があります。

◇皆さんが就職先を決める時、何を重要視しますか。 →ほぼ全員が休暇

◆採用する際、学歴を重視するのか、それとも人柄を重視しているのか教えてください。

⇒まずは、人柄・性格・仕事に取り組む姿勢などを重視します。免状や学歴は二の次になります。

### 【先生との懇談】

◇進路状況について教えてください。

→昨年度は、41名中、商船が16名、官公庁・漁船などが9名、進学が10名、その他は本校の専攻科への進学。また、専攻科卒業生8名は全て商船へ就職。

→本年度は、3年生40名、商船希望が18名、官公庁・漁船など希望が5名、進学希望が12名となっております。なお、商船希望の18名中、タンカーは5名・フェリー2名・RORO2名が希望しています。船種は、やはり乗船実習を行った後に具体的になって行きます。

◇専攻科の定員は何名ですか。 →航海・機関合わせて10名です。

◇定員についてはどうか。 →今年は、航海・機関コース、専攻科とも定員割れはしていない。

◇航海・機関コースは1年生の時から決まっているのか。

→一年生は全て同じで2年生から、航海・機関コース各20名に分かれます。ただ、実習船が3県合同のため、船に乗れない機関コースが他に20名います。彼らはほとんど陸上の職に就職しますが、乗船履歴が無いだけで4級機関の筆記免除を取得しています。ただ、授業が4級免状の勉強が中心となり、船舶や漁業に関する授業が十分出来ていない面もある。

◇タンカー希望者が少ない理由がわかりますか。

→おそらく就職した先輩たちからタンカー船はキツイという話を聞いているためだと思います。

⇒今は、船員の労働時間管理が非常に厳しくなっているので、昔のようなことはないです。

→去年卒業した生徒から話を聞くと、昔と違って今は労働時間がしっかり管理されていることを知った。その評判が広がるのにもう少し時間がかかるような感じがします。

⇒業界としても船員の労働時間管理に対して厳格に対応していることが、学校に浸透して行くようにしなければならぬ。そうすれば、生徒さんも安心すると思います。

◇生徒さんは会社訪問とかされるのですか。

→する場合がありますが、求人票にドックに来ませんかとか、新造船を造っているので来ませんかとか記載していただくと、希望する生徒は夏休み期間中に見学に行きやすいと思います。

◇乗船体験の実施などは可能ですか。

→福岡県の高校生は泊まりが出来ない。専攻科は泊りが認められている。

◆タンカー船のことを生徒に話す場合、何がメリットだと話せば良いか。

⇒タンカー船は、他の船種に比べ労働時間管理や休暇の付与が一番よく守られている。給料も他の船種よりは高いという点。

## 学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	長崎県立長崎鶴洋高等学校
訪問年月日	令和6年7月10日(水) 11:05~12:40
訪 問 者	松井(松和汽船株)、本多(株六青和 SHIPPING)、野村(旭タンカー株)、林(祝林タンカー株)、合田・尾崎(トクヤマ海陸運送株)、松本(松盛汽船株)、薄墨(西部支部)
学校側面談者	杓瀬教諭
実施事項	①生徒との懇談(3年生11名) ②先生との懇談
懇談・意見交換概要(別紙添付も可) ◆・➡は学校側、◇・➡は企業側の発言を示す。	
<p>【生徒との懇談】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・DVD視聴</li> <li>・各社自己紹介</li> </ul> <p>(生徒からの質問)</p> <p>◆乗船休暇のサイクルはどのくらいですか。          ⇒どこの会社もだいたい2月乗船の20日休暇とか、3月乗船の1月休暇だと思います。サイクルは、短くなって来ていると思います。</p> <p>◆年間の休暇は、どのくらいですか。          ⇒我が社は100日程度。また、土日など工場が休みで出荷する貨物が無い場合は、休暇としています。          ⇒休暇の日数などは、各社で異なる場合があるが、船員法で定められた日数を下回ることはない。</p> <p>◆福利厚生はどうなっています?保険や労災などきちんと入っていますか。          ⇒保険などはきちんと入っていますし、定められた基準以上のものに入っている。</p> <p>◆内航船・外航船の両方を所有している場合、募集方法はどのようなのですか。          ⇒募集方法は変わりません。ただ、入社して本人の仕事ぶりなどを見て内航船・外航船への乗り組みを分けて行きます。外航船は、やはり英語が出来ないといけないです。</p> <p>◆船長になるには何級の海技免状が必要ですか。          ⇒内航タンカーの場合、大きな船舶を除けば四級海技士を取得していれば十分ですが、皆さん若いので、是非、3級を目指してください。</p> <p>◆船内でハラスメントなどがありますか?          ⇒ここ4~5年若い船員を雇用しているが、その船員さんは一人も退職していないので、船内での生活環境が良いものと思っています。          ⇒各社ハラスメントについては、非常に敏感になっており、通報窓口や乗組員への教育などを積極的に取り組んでいます。また、法律でも各種規定されています。</p>	

◆内航船員の「魅力」や「やりがい」って何ですか？

⇒「魅力」や「やりがい」は人それぞれだと思います。

例えば、昇進して船長・機関長になったとか、任された仕事を一人で成し遂げたとか、船上から美しい景色を見たとか、人それぞれで違っていると思います。

◇進学と就職どちらを希望しますか。

⇒全員就職を希望

◇会社を選択する場合に、何を重視しますか。

⇒①給料：8人、②休暇：2人、③その他：1人（福利厚生）

#### 【先生との懇談】

◇今年3月の卒業生の進路について教えてください。

⇒航海・機関16名、海上就職者数14名、うち内航就職者数9名、進学者2名となっています。学校の特色として、漁船に就職する生徒の割合が多いです。

◇現3年生の進路希望は、どのようになっていますか。

⇒航海8名、機関4名となっている。進路希望は、現段階では全員が就職を希望しており、その半分以上が漁船を希望している状況。

◇漁船への就職希望者が多いが、何か理由がありますか？

⇒特にこれと言った理由は分からない。

◇学校でインターンシップなどは実施していますか。

⇒毎年、2年生を対象とした、漁家研修と言って漁師さんの家に行って3日間の研修を行っています。費用は長崎県が全額負担。

◇内航タンカー船に対する生徒のイメージはどうですか。

⇒生徒は、内航タンカー船に対して悪いイメージは持っていないと思う。これから、三者面談を行い、生徒も就職先の船種などを決めて行く段階になると思っている。

◇学校として、何か問題を抱えていますか。

⇒少子化などにより、入学者が非常に少ない。毎年定員割れの状況。

本校としても中学生へのアプローチとして、夏休みに中学生を船に乗せてクルージングや船内見学を実施している。

## 学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	大分県立海洋科学高等学校
訪問年月日	令和6年12月5日(水) 13:25~15:20
訪 問 者	重信(日本カスライン(株))、馬場(シヨクタンカ(株))、菊池(株霧島海運商会)、山田・入夏(明和タンカ(株))、岩永(浜崎海運(株))、佐藤(浪速タンカ(株))、松本・松本(松盛汽船(株))、野村(旭タンカ(株))、林(祝林タンカ(株))、萬屋(株テムカム)、薄墨(西部支部)
学校側面談者	佐藤進路指導主任、ほか4名
実施事項	①生徒との懇談名(1年27名、2年19名、専攻科1年4名 計50名) ②先生との懇談

懇談・意見交換概要(別紙添付も可) ◆・→は学校側、◇・⇒は企業側の発言を示す

### 【生徒との懇談】

- ・ブース形式による懇談会を実施。学校側で事前に生徒へアンケートを実施し、10班を形成して、1回20分の説明を行う。これを3回ローテーションする方法で実施した。そのため、ブースが空になることはありませんでした。
- ・参加企業紹介については、事前に1社A4版2ページの会社紹介資料を冊子にして配布。

### (各ブースにおける生徒からの主な質問)

- ➡タンカーに乗船するにあたって、特別な資格が必要ですか。
- ➡運航している航路を教えてください。
- ➡休暇の時間の過ごし方はどのようにして過ごしているのですか？
- ➡乗船期間は、どのくらいですか？
- ➡入社試験の適正検査はどのようなものがありますか？
- ➡船室の広さはどのくらいですか？
- ➡給料はどの位貰えるのですか？
- ➡乗船日数と休暇日数のサイクルについて教えてください。
- ➡どのような場所で交代するのですか？
- ➡女性船員の採用はありますか？
- ➡機関部も荷役をするのですか？
- ➡仮バースとは何ですか？
- ➡荷役とはどのような仕事内容ですか？
- ➡日帰りの船がありますか？



## 【先生との懇談】

◇本年度の就職状況について教えてください

➡20名中13名が就職希望（甲板8名・機関5名）で全て内定をもらっているが、機関の1名は陸上職を希望。

最近の傾向として、特に海技者セミナーで就職を決める生徒が多い。もう一つがYou tubeを見て情報を集めて雰囲気です職先を決める生徒もいる。あともう一つ言えるのは先輩が就職している会社。知らない会社に就職するのは少ない。やはり生徒は、対面とか SNS 等の情報を欲しがっています。

◇離職理由と言うのは分かりますか。

➡毎年2~3年で辞める生徒が数名います。理由としては、人間関係が構築できないことが大きい。誰に相談すれば良いのか分からない。船内で浮いている。ただ、先輩が頑張っていて育てていただいている会社は辞めません。

◇入学希望者の動向はどうか。

➡昔は県中心部が多く地元が少なかったが、最近は地元の子も増え、県内全域から入学するようになった。ただ、入学しても合わないといって転学や進路変更する生徒もいます。定員は1クラス40名だが定員を満たすのが難しい状況。今年は38名入学。

◆生徒がタンカーの仕事を知らない。例えば、一日の仕事の流れが分かるような映像などをご提供いただければ、授業の合間に見せたいがありますか？

⇒作成していない。

➡タンカー船について、1年生は船を操船するだけと思っている。その後に荷役があると思っていない。

◇専攻科の定員は何名ですか？

➡10名です。甲板・機関の割合は年度で違ってきます。

◇寮の定員はどうなっているのか。

➡48名ですが、入寮しているのは10数名です。入寮基準はあります。

◇フェリーを希望する生徒が多かったが、毎年フェリーを希望する生徒は多いのですか。

➡毎年フェリーを希望する生徒は結構います。やはり3ヶ月の1ヶ月休みが馴染まなくなっているのか日帰りが良いと思っている。休みのサイクルも短くなって来ているが、やはり3ヶ月は長いと感じる生徒が多いので、フェリーを希望するのだと思います。

◆県内の内航船にインターンシップをお願いしたが、直前でなければ運航スケジュールが分からないため調整が付かなかった。学校としては、船内生活を経験させて送り出すことがミスマッチを防ぐことになるとしている。これからも2年生もしくは3年生の夏に乗せて行こうと考えているので、ご協力をお願いします。

⇒遠方にはなるが、タンカー船の入港から荷役、その後出航までの流れを陸側から見学することは可能ではないかと思っているが、そのようなものでも良いか。

➡学校内で検討したい。

## 学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	熊本県立天草拓心高校
訪問年月日	令和7年2月14日(金) 13:25~14:50
訪 問 者	薄墨(西部支部)
学校側面談者	進路指導部 山田教諭 山口教諭
実施事項	①進路ガイダンス参加(1年生・2年生33名)
懇談・意見交換概要(別紙添付も可)	
<p><b>(ガイダンスの概要)</b></p> <p>授業方式で、内航海運と漁業に関する実状などを伝えることにより、1年生と2年生に対して将来の進むべき方向性を探ることを目的として開催されました。</p> <p><b>1. 生徒への説明時間(13:25~14:20)</b></p> <p>内航総連合会が作成した「令和6年度版 内航海運の活動」及び「What is 内航海運？」を資料として配布するとともに、西部支部において、パワーポイントを使って独自に作成した資料「日本の暮らしを支える内航海運と船員の仕事」を使って、生徒へ内航海運に関する講演を行った。併せて、内航タンカーの特異性や重要性について講義内容に加えた。</p> <p><b>2. 先生との懇談(14:25~14:50)</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・定員20名で、昨年は16名が卒業して約7~8割が内航海運へ就職しているが、生徒と企業が出会う機会が少ないためか、また、企業の情報量が少ないためか、縁故や先輩がいる会社へ就職する傾向がある。海技者セミナーなどで企業の方と出会うと先輩が居ない企業へも就職するケースが見受けられる。</li><li>・求人票の解禁は、7月初旬だが3年生はもっと早い段階で自分が希望する企業を選択している。前年の求人票を見て、4月の後半には希望する会社を決めている生徒も居るし、学校側としても早い段階で希望する企業名を取っている。</li><li>・企業説明会は、学校側が希望すれば何時でも問題ないが、企業からのアプローチとなると必要に応じた対応となる。生徒から要望があれば学校としても対応して行きたい。</li><li>・学校も船種を知ってもらうために、企業にお願いをして授業の一環として講義をして貰うこともやっている。</li><li>・企業から生徒さんへの情報提供は、3年生になってでは遅いため、2年生の時点で多くの情報提供をして行くことが重要。学校側としても求人情報だけでなく、より多くの会社情報を生徒に提供して就職先を選択して欲しいと考えている。</li><li>・特定企業に就職する生徒が多いのは、先輩が居るのも重要だが、その企業さんが船内見学を実施していただいた時から徐々に生徒が就職を希望するようになった。</li><li>・タンカーを見学する機会は無いです。</li><li>・企業としては、生徒さんへの情報提供の方法・時期、加えて、実際にタンカー船の船内見学をさせることも重要なポイントになってくるものと思料する。</li></ul>	

## 学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	宮崎県立宮崎海洋高校
訪問年月日	令和6年12月10日(火) 13:40~15:30
訪 問 者	薄墨(西部支部)
学校側面談者	進路指導部 中島教諭
実施事項	①ガイダンス参加(1年生63名、2年生61名、保護者30名程度)

懇談・意見交換概要(別紙添付も可)

### (ガイダンスの概要)

漁業・建設業・運輸業・卸売行・小売業・サービス業・公務員・進学などの業種が30のブースを設置し、1年生と2年生及び保護者に対して将来の進むべき方向性を探ることを目的として開催されました。

#### 1. 参加対象

1年生63名、2年生61名及び希望保護者30程度

#### 2. 内容(時間割で巡回する形式)

1部 13:40~14:05 (25分間)

2部 14:10~14:30 (20分間)

3部 14:40~15:00 (20分間)



#### 3. 全国内航タンカー海運組合ブース訪問者の状況

1部 6名(1年生6名、2年生2名全て2年生)  
保護者1名

2部 5名(1年生4名、2年生1名)

3部 2名(全て2年生)と保護者1名



#### 4. 説明内容

⇒内航海運全般について、支部で作成した資料を配布しタンカー色を出しながら説明した。なお、資料には、学校訪問時に生徒さんから良くされる質問を参考として掲載した。

⇒機材の関係から動画などを見せることが出来ないため、訪問者全員(保護はを含む)に内航総連合会の「内航海運の活動」及び「What is 内航海運?」のパンフレットを配布した。

#### 5. 質問について

女生徒から相談があったので、女性船員を雇用されているイイノガストランスポート株の女性にお願いをして、回答してもらった。

**(先生へ事前に行った調査)**

◆今年卒業生の就職先について

⇒内航船 17 名、造船 1 名、調査船 1 名、漁業 9 名

◆最近の入試状況について

⇒ここ最近、定員 120 名に対して 5~6 割の入学状況。

◆生徒が就職先を選択する基準や傾向を教えてください。

⇒本校職員の進めや先輩がいるかどうか、休日が多いこと、給料が良いことなどのようです。  
自分で開拓する生徒も稀にいますが、全体的に「求人票」を見て決めています。

◆今年卒業生で、既に離職している子はいますか。また、離職事由は何ですか。

⇒毎年、離職する生徒は若干おります。理由は、やはり人間関係が一番多いです。

◆実習船の現状について

⇒実習船「進洋丸」は、本年竣工したものの、やはり職員が不足している。

## 学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	鹿児島県立鹿児島水産高等学校
訪問年月日	令和6年12月19日(木) 13:45～16:00
訪 問 者	土井(三興運油株)、重信(日本ガスライン株)、菊池(株霧島海運商会)、佐藤(浪速タンカ-株)、松本・松本(松盛汽船株)、久保山(幸洋汽船株)、野村(旭タンカ-株)、木下・長田(鶴見サンマリン株)、萬屋(デュカム株)、松本(大四マリン株)、本多(株六青和シッピング)、三浦(大和海運株)、山本(山本汽船株)、薄墨(西部支部)
学校側面談者	兒玉進路部指導主任 他 4名
実施事項	① 生徒との懇談 2年生 28名 (航海 18名、機関 10名) ② 先生との懇談
懇談・意見交換概要(別紙添付可) ◆・➡は学校側、◇・➡は企業側の発言を示す。	
<p><b>(生徒との懇談)</b></p> <p>・DVD視聴</p> <p>・参加企業紹介については、事前に1社 A4 版2ページの会社紹介資料を冊子にして配布</p> <p>◆船で航海士と機関士との割合を教えてください。</p> <p>➡内航タンカーで一番大きい船で、甲板部(船長を含め)が7名、機関部が3名、司厨長が1名になります。小さい船だと甲板部が3名、機関部が2名だったりします。</p> <p>◆仕事になれるまでにどのくらいの期間が必要か</p> <p>➡最初の乗船の3ヶ月から6ヶ月ぐらいOJT期間を設けており、まずは船の生活に慣れて、船での仕事の流れを覚えてもらう。最初の3ヶ月位で慣れてくる人が8割ぐらい。ただ、個人差があります。</p> <p>◆航海当直は何人で取るのですか。</p> <p>➡船の大きさで違うが、総トン数750t(特例船以外は700t)以上の船だと甲板は2人当直、750t(同様)未満は1人当直。機関は装備によって違ってきます。</p> <p>◆フェリーを希望しているが、タンカー船の良さって何がありますか。</p> <p>➡一番良いのは給料の面と思います。</p> <p>➡フェリーと比べると休暇が長く取れるので、休暇中の過ごし方の選択肢が広がります。</p> <p>◆船内での休みのとき、何をして過ごしていますか。</p> <p>➡沖アンカーで休む時は、釣りだとかゲームなど自分の趣味をして過ごしています。</p> <p>◆内航タンカーの仮バースは月にどの位ですか。</p> <p>➡船の大きさや航路によっても違うが、だいたい月に2～3回ですが、労務管理が厳しいので休める時は休むようにしています。</p> <p>◆海技士免許以外に持っておいた方が良い資格がありますか。</p> <p>➡甲板部は特殊無線の資格、機関部は海技免状だけで良いです。ただ、両部とも将来のことを考えると3級の筆記を取っておけば良いと思います。</p>	



◆船内で機関の作業はどの程度まで行うんですか。

⇒通常の整備作業が主で、修理などは火が使えないので行ってないと思います。

◇タンカーが良いなと思った方、何故タンカー良いなと思ったのか。

⇒給料が良いのがほとんどで、それ以外には日本のいろんなところへ行ける。

◆仕事のやりがいがあってどんなことがありますか。

⇒皆さんの生活の支えとなっているエネルギーを運んでいることにプライドを持ってやってる。

⇒ガソリンスタンドで給油したとき、自分の会社の船で運んだガソリンなのかなと感じる。

◆荷役するとき職員は参加するのですか。それと、荷役に参加した時に手当はどの位つくのか。

⇒荷役責任者は職員です。甲板の人間は皆荷役に参加し、荷役責任者の指示のもとに交代で行います。手当は会社で金額が異なると思います。

◆急な休みが必要な場合はどうなるのか。

⇒例えば、親族に不幸があった場合、交代員の手配が出来れば直ぐに下船させます。自分が逆の立場になる時もあります。

◇船に乗ろうと思ってる人…⇒26名程度

⇒そのうち漁船以外の船に乗ろうと思っている人…⇒20名程度

⇒今日話を聞いてタンカーも良いかなと思っている人…⇒漁船以外の希望者ほぼ全員

◇内航タンカーは、一般的に3か月乗船して1ヶ月休暇というのが一番多いが、3か月乗船が長いと思う人、どれだけでも乗れる人

⇒3か月は長い6名、2か月0名、3か月でも良い多数、どれだけでも1名(稼いでやる)

◇卒業して直ぐに船に乗ろうと思っている人…⇒8名

◇ケミカルタンカーが、危険とか危ないとか体に悪いというイメージを持っておられる方がいるが、今は、安全な手順を踏まないと荷役をさせてもらえないので、偏見だけは無くしてください。

◇船会社に居る学校の先輩に相談したことがある。…⇒0名

◇就職の参考にするにあたって、SNSとかを活用していますか。

⇒SNS…23名、ユーチューブ…23名、インスタで船内写真や仕事の内容を見る。

◆高校卒業して就職する場合と、専攻科を卒業して就職するのと、どちらが良いですか。

⇒どちらが良いとは言えないが、ライセンスも大事だと思うが2~3年ぐらい差があったら本人のやる気次第で上の職につくことも可能性なので、早く現場に出て学んだ方がいいかなと思います。

⇒専攻科を出ると3級が貰えるので、後々の事を考えると専攻科へ進学した方が良い面もあります。

◆髪型や髪色とかピアスとかで禁止とかありますか。

⇒とりあえず仕事さえちゃんとしてもらえれば、そういう厳しいことは言わない。ただ、皆さん意識がすごく高いので仕事に影響が出るって自分たちで判断するとやめます。

⇒ピアスや髪を染めるには良いが、外ウーだけは注意してください。生命保険入れなくなる場合があります。そうすると、住宅ローンが組めなくなるということを良く考える必要があります。

◆タンカーのタンククリーニングの頻度はどのくらいですか。

⇒頻度はまちまちだが、ケミカルタンカーは、基本タンククリーニングはあります。その分時間もかかるのでその分の手当も発生する。

◆入社してから陸上の勤務になることがありますか。

⇒陸上勤務はあります。職員になって知識を持たないと、業務ができないような内容です。ですから、陸上勤務は職員になってからとなります。。甲板は海務関係、機関は工務関係に勤務します。

◆乗船してから資格の勉強ってやっぱり難しいですか。

⇒学校で勉強する以上に大変かもしれない。タンカーのことを勉強して、なおかつ資格の勉強をしなければならない。乗船中はなかなか勉強するのは厳しいかなと思うが、本人の意志次第です。

◆船員を目指していこうと思ってますけども、どういふところに気をつけたら良い船員になって早く上職になれるかアドバイスをください。

⇒休憩の時間でも職員が仕事をやってる姿を見たりして、いろいろとメモを取ること。

⇒何か言われても知ったかぶりをするのではなく、分からなかったら素直に教えてもらおう姿勢が大事。

⇒一番大事なのはコミュニケーション能力かなと思います。どれだけ仕事ができても全部一人でやっちゃうのは良くないので、やっぱりコミュニケーション能力が大事。

⇒整理整頓がきちりできること。掃除がしっかり出来ることがあとあと生きてくるかなと思います。

### (先生との懇談)

◇進学状況について

➡1 学年の定員が120名ですが、毎年100名程度が入学してきます。20名足りないというのは食品工学が定員に達していない。船員を養成する海洋科は毎年定員を満たしております。定員40名でその中で2年生から3つのコースに分かれ、本年度は40名の中から甲板が18名・機関が10名。

➡進路に関しては、令和5年度は、本科を卒業して船に就職が6名(甲板:1名・機関:5名)で残りは専攻科もしくは海技短大へ進学しています。最近では、本科を終えて就職するよりも専攻科や海技短大へ進む生徒が多いのかなという印象です。

➡今年度の就職状況はまだ全員確定していませんが、だいたい昨年度と同様な状況であります。

昨年度の専攻科が、甲板:6名・機関:8名いたが全員船に就職。そして、全員3級口述を合格。

◇生徒との懇談では、船に乗りたいという生徒が多かったが、今の話では進学する生徒が多いようだ。

➡今の時点では、はっきりと自分自身がまだ決まってない状況なんです。

◇この会社を選ぼうと決めるのは何時ごろですか。

➡3年生7月の三者面談でその時には当然本人が決定している。

◇専攻科の全員が船に就職したって言われましたが、就職した船種を把握されていますか。

➡甲板部:タンカー・・・0名、フェリー・・・1名、RORO・・・5名

機関部:タンカー・・・1名、フェリー・・・2名、RORO・・・3名、調査船・・・1名

◇RORO船の希望者が多い要因が何かあるのか。

➡生徒に大きい船に乗りたいという感覚があり、かつ、傾向的には定期航路に惹かれているのかなというふうに思います。一方、タンカー船は、保護者の中に危ない・キツイという認識がちょっと強い。

◆タンカー船の勤務状況はどのようなものですか。

⇒働き方改革で、1日14時間以上の労働はだめ、1日6時間以上の連続休息が必要、週72時間以上の労働はだめというルールがありますので、労働時間を超えそうな場合は、オペレーターが船を止めます。

◇生徒さんは、県内からが多いのか県外からが多いのか。

➡県外からも来ている。県外は基本寮生になるが、枕崎市内で下宿生活や一人暮らしをしてる生徒もいる。ただ、寮生は、2年前は82名だったのが、今年は50数名となって段々と少なくなっている。

- ◆入試の際に第二志望で食品工学科に回って来る生徒がいる。その中には入学後も船は諦めたくない、夢を諦めたくないという生徒がいる。そういう生徒には、司厨員として一から鍛えて頂けるような会社があれば、是非教えていただきたい。
- ⇒食品工学科に行った生徒さんで部員として乗りたいと思ってる方どれくらいいらっしゃるんですか。
- ➡三年間を過ごす中で、船の夢を変更したりする人もいるが、毎年数名おられます。今年度は免許を取るため短大へ進学する生徒もいます。
- ⇒もともとは、船員になりたいと思っていた生徒が、3年間食品工学科で勉強したことにより、司厨員になりたいという生徒はおられますか。
- ➡そういう生徒はおられます。2年生の中にもやはり司厨員に興味を持っている生徒はおられます。
- ⇒船に乗りたいという生徒は、海洋科の求人票とかは見ているのですか。
- ➡見に来ています。ただ、自分たちでも応募できるのかどうか分からず、やっぱり無理なのかなと思ってしまう。今は、興味がある会社を教えるもって、私が相談の電話をするからと伝えています。
- ⇒そのようなケースは全然ありだと思います。
- ⇒本人が船でやりたいという気持ちがあるなら、何とかあります。また、船に船員が違う意味でまた増えていくことにつながるのかなと思います。
- ◆今、進学か就職かですごく迷っている生徒が多い。そこで、海技短大上がりと水産高校上がりとの違いがあったりするのでしょうか。
- ⇒本人次第だと思います。4級でいろんなことできるんですけど、会社の中には船長とか機関長になったら3級がいるという。本人のことを考えて卒業するまでに3級筆記を取らないか進める。履歴がいたら会社が、受験させると言っています。
- ⇒海技短大の方が専門的に勉強するので、良いと思います。



- ・内航船に、外国人船員が乗船できない理由は何ですか
- ・乗船中でも休みはありますか。
- ・タンカー船は、化学記号などがよく出てきますが、化学の学科が得意ではないですが、大丈夫でしょうか
- ・タンククリーニングはどんな種類がありますか。
- ・資格で危険物の甲乙は必要ですか。
- ・船内で航海当直以外の時は、何をしていますか。
- ・船員の就寝時間はどれくらいですか。
- ・会社で人材を採用する際は、どのような人材を求めていますか。
- ・外航船と内航船のメリットとデメリットは。
- ・タンカー船の船員になるメリットは。
- ・航行区域について
- ・船の大きさによる働き方の違いについて
- ・休暇サイクルについて
- ・女子船員の雇用について

◎先生との懇談内容（10：45～11：10）を実施

山田先生 向瀬先生 山本先生 亀井先生

最近の学校の傾向として、女子生徒が多くなってきている。

現在の5年生の進路状況は、

就職（70%）

- ・外航船社 20%
- ・内航船社 20%（タンカー7名・フェリー2名）
- ・陸上就職 60%

進学（30%）

学校としては、インターンシップを募集している。

ただ、リスクもある。

乗船した船内で、乗組員同士の愚痴を聞いてしまうと生徒は、その会社を避ける傾向にある。

乗船サイクルを重視する傾向にある。

訪問学校名	鳥羽商船高等専門学校
訪問年月日	令和 6年 5月10日
訪問者 (氏名・社名・役職 ・別紙添付も可)	篠原 俊男 (田渕海運(株)) 野末 弘毅 (上野トランステック(株)) 倉田 隆顕 (株三洋海運商会) 松本 和成 (大四マリン(株)) 伊勢 和史 (NS ユナイテッド(株)) 小野田真宏 (株六甲船舶) 竹駒 勇治・諸見 謙 (昭和ニッタンマリタイム(株)) 岸 和宏・西村 忠洋・野村 宏祐 (旭タンカー(株)) 上村 良 (事務局)
学校側面談者 (氏名・役職)	窪田教授 鎌田准教授
実施事項 (○印)	(1)生徒全体説明 ○(2)学校側懇談 (3)個別就職相談 (4)懇親会
懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生との懇談内容 (13:00~13:20) を実施</li> <li>・生徒への出前授業 (13:30~15:30) を実施</li> </ul> <p>詳細については、別添記載</p>	

◎先生との情報交換

13:00~13:20

窪田教授 あいさつの後、情報交換

- ・海運業界に就職するが、退社する生徒が多い。
- ・理由としては、当初説明があった乗船期間が、交代要員の都合により、下船できない状況がまれにある。
- ・4級の取得だが、3級を取得し、外航を希望者する生徒が増えてきている。
- ・2級取得者も多くなっている傾向である。しかし、外国語(英語)が取得できない。
- ・各学年の定員が40名で 2年生の時にコース選択をする。  
外交希望者 10%~20% デッキ 60% エンジン 40%

現在の4年生は女子が比較的多いので、女性採用を前向きに採用している会社に、訪問いただきたいとの要望あり。

以上の説明がなされた。

◎生徒への出前授業

13:20~15:30

参加者生徒 5年生 33名 (航海19名・機関14名)

13 : 20 4 グループに分かれ、20分ずつのグループトークングを実施

- 1 グループ 篠原氏・岸 氏・伊勢氏
- 2 グループ 野末氏・野村氏・小野田氏
- 3 グループ 竹駒氏・西村氏・諸見氏
- 4 グループ 松本氏・倉田氏



グループトークングで生徒から出された質問（抜粋）

1. 入社時の給料について
2. 貴社ではどのような船内融和に努めていますか？
3. 船室は個室ですか？またどのような設備が備わっていますか？
4. 乗船期間及び休暇日数を教えてください。
5. 入社して乗船するまでには何か研修がありますか？
6. 入社時は部員・職員どちらからのスタートになりますか？
7. 部員からのスタートの場合、どのくらいの期間で職員に登用されますか？
8. 船上ではどのような環境対策がありますか？
9. タンカーの船上では、どのような規則や制約がありますか？
10. タンカーと貨物船ではどのような労働環境の違いがありますか？
11. 乗船中、一日の作業サイクルを教えてください。
12. 船員の魅力って、何ですか？
13. 船員として長く働くには何をモチベーションにしていますか？

以上のような質問が出され、グループ毎にそれぞれの質問に対し、参加各社での状況や、対応の説明がなされた。

# 学校訪問報告書

訪問学校名	独立行政法人 国立弓削商船高等専門学校
訪問日	令和6年12月12日(木)
訪問者	内タン副会長・四国支部長 越智崇 はじめ、15社(18名)と事務局1名 <b>【会場参加事業者】</b> 1 東汽船(株)、2 NSコイテッドタンカー(株)、3 英雄海運(株)、4 金力汽船(株)、 5 如月汽船(株)、6 幸洋汽船(株)、7 コーウン・マリン(株)、8 四国中央汽船(有)、 9 大和海運(株)、10 田淵海運(株)、11 鶴見サンマリン(株)、12 トクヤマ海陸運送(株)、 13 日本ガスライン(株)、14 浜崎海運(株)、15 明神海運(株)  <b>【事務局】</b> 山内(四国支部)
学校関係者	内田学校長、野々山商船学科准教授、秋葉商船学科就職指導主任、村上学生主事、藤本学生支援係長、坂上学生支援係
実施事項	第一部 学校側と内タン組合員事業者との情報交換 第二部 学生全体への説明会

## 学校訪問の概要

### 第一部(13:20~14:10) 第一会議室

○学校(校長、副校長等)と内タン(組合員事業者)との情報交換会

#### (1) あいさつ

- ・全国内航タンカー海運組合副会長・四国支部長 越智崇
- ・国立弓削商船高等専門学校 学校長 内田誠

#### (2) 内タン出席者の自己紹介

#### (3) 国立弓削商船高等専門学校の現況について(学校から)

出席者: 学校7名、事業者15社(18名)、事務局1名



写真 学校関係者との情報交換会

(次項続く)

### 【学校説明の概要】

- ・商船学科の約8割が海上就職し、内航と外航の割合は、2：1である。進学した者についてはほとんどが外航に就職。
- ・学生の就職活動は、6月前後の就職試験に始まり、夏休みまでにはほぼ就職先が決定している状況。
- ・求人票と一緒に各事業者の特徴が分かる詳細な資料を提供してもらえると助かる。

### 【懇談の概要】

- ・求人票の具体的な提出の仕方について。
- ・学生の教育方針、資格取得について。在学中の資格取得を推奨。
- ・女子学生の動向。40名中9名を女子が占め、最低でも5～6名/年で推移。強い意志を持って入学する傾向がある。
- ・内航希望者の志向について（大手志向？地元志向？）。大手、地元に関わらず多様な志向がある。
- ・多様な事業者の話聞く機会は重要、事業者の特徴の詳細情報は必要。就職指導主任までお知らせを。

## 第二部（14:20～15:50）アセンブリホール

### ○学生全体への説明会（質疑応答を含む）

商船学科3年生42名に対して説明会を実施。学校教職員5名も同席。

（1）内タン参加事業者の自己紹介（1社3分程度：約50分）

（2）内航タンカーの概要について（事業者の説明及び質疑応答：約40分）

越智副会長を座長に学校関係者との懇談内容に即した説明と質疑応答が行われた。

### 【質疑内容の一部】

- ・内航船員、外航船員の乗り換えについて
- ・危険物の取扱、出入港の頻度について
- ・事業者紹介資料の「資本金」数値の見方
- ・就職先について船種によるメリットとデメリット
- ・船員就職における学力の重要性
- ・船員の結婚や育児等家庭生活について
- ・給与の使い道等船員の余暇の過ごし方について



写真 学生全体への説明会

# 学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	広島商船高等専門学校
訪問日	2024年 12月10日 (火)
訪問者 14社、18名	伊勢和史 (NS ユナイテッドタンカー)、櫻庭涼輔 (旭タンカー)、入夏康平 (明和タンカー)、高木宣幸 (大和海運)、山下良一 (コーウン・マリン)、上村隆司 (田渕海運)、松本雅文、松本泰征 (松盛汽船)、角田 崇 (鶴見サンマリン)、久保山知未 (幸洋汽船)、重信周平 (日本ガスライン)、宮野隆史 (山本汽船)、村上伸一、西澤侑馬 (大四マリン)、萬屋彩子 (デュカム)、佐藤祐樹 (浪速タンカー)、力石正志 (中国支部)、山口孝次 (本部)
学校側面談者	逸見真 (校長)、茶園敏文教授、村岡秀和准教授 (商船学科)
実施事項 (○印)	○(1)学校側懇談 ○(2)生徒懇談 (3)個別就職相談 ○(4)懇親会
<p>(全員集合自己紹介) 14:45~15:00 於視聴覚教室</p> <p>(学生との懇談) 15:05~16:10 組合参加者を2グループに分け、航海20名、機関15名を対象に視聴覚教室と第2会議室でそれぞれ約30分間毎に学生を入れ替えて懇談を行った。</p> <p>(グループ懇談会での学生からの質問等: 重複有)</p> <p>◎航海3年20名(うち5名は女子)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タンカーに乗る魅力は何か。</li> <li>→一般的な船種と比べると賃金が高い。</li> <li>→高度な安全管理により、船員としての(短期間の)スキルアップ。</li> <li>・タンカーの荷役について説明して欲しい。(どんな作業があるのか。)</li> <li>→ローディングアーム取り付け~積み込み、タンク切り替え、揚げ荷の説明。</li> <li>・どんな人がタンカー船員に向いているか。</li> <li>→人が見ていないところでも、任された仕事はしっかりこなす人材。横着をしない。素直。</li> <li>・タンカーのヒヤリハットはどんなものがあるか。</li> <li>→荷役でのヒヤリはあまり無いが、やはり出入港時のホーサーワークなど。</li> <li>・新造船のコンセプトは。どんなところに注力しているか。</li> <li>→乗組員の意見をできる限り反映し、乗りやすい船。</li> <li>→居住区や動線をしっかり検討。省エネや搭載量も大事だが、人にまつわる使いやすさにこだわっている。</li> <li>・タンカーに乗る魅力は何か</li> <li>→給料の高さ、船員として質の高い環境で働ける</li> <li>・具体的に荷役でどういうことをするのか</li> <li>→バルブ操作、ローディングアームの脱着、バラスト漲排水</li> <li>・実際にあったヒヤリハットの事例</li> <li>→離着岸作業が最も多い</li> <li>・女性船員の有無</li> <li>→Aグループは1社もなし</li> <li>・タンカーマンに向いている人、性格は何か</li> <li>→素直、細かいことを気にしない、気配りができる</li> <li>・新造船建造にあたってのこだわりはあるか</li> <li>→船員の意見を取り入れて居住区を中心に反映する</li> </ul>	

・タンカー船ならではの危険

→危険物だから危険はつきものだがその分安全意識は高い

・各社が行っているハラスメント対策

→陸上研修や訪船活動

(機関15名)

・乗船前研修の有無

→各社2から7日程度の社内研修あり

・船長になるメリット

→給料面、船内でのやりやすさ、自分のペースで仕事できる

・ケミカル製品の危険性

→保護具の着用でカバーできるしいろんな基準が厳しいから心配ない

・乗船の際の荷物の量

→固定配乗ならスーツケース1つくらい、転船の際には代理店経由で送る

・本校の印象

→5年間専門的な知識を学ぶから即戦力として期待

・危険物に対する知識の養い方

→他社の事故事例等でトラブルシューティングする

(教職員との面談) 16:20~16:50 第2会議室で上記3名の学校関係者と面談を行った。

逸見校長は学生との懇談会冒頭に続き、教職員との懇談会席上でも挨拶及び説明をして頂いた。

商船高専への学校訪問で、校長自らが率先して内タンの学校訪問に対応するケースは希でありありがたかった。



以上

# 学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	大島商船高等専門学校
訪問日	2025年 1月 27日(月)
訪問者 14社、18名	伊勢和史(NS ユナイテッドタンカー)、岡崇史(旭タンカー)、 外城駿介(英雄海運)、 岩永健一(浜崎海運)、山田智昭(明和タンカー)、高木宣幸(大和海運)、山下良一・ 田村直之(コーウン・マリン)、上村隆(田渕海運)、 山本良・萬屋彩子(デュカム)、 重信周平(日本ガスライン)、 山本宗宏(山本汽船)、薄墨徳光(西部支部) 山口孝次(本部)計 16名
学校側面談者	商船学科 清水聖治教授、森脇千春教諭
実施事項(○印)	○(1)学校側懇談 ○(2)生徒懇談 (3)個別就職相談 (4)懇親会
<p>参加者は 09:50 を目標に南棟4F 航法実験室 1 に集合</p> <p><b>【学校側との懇談】</b>10:00~10:25 航法実験室 1</p> <p>学校側参加者:商船学科 清水聖治教授、森脇千春教諭</p> <p>◆内タン事務局から R5年度内タンの船員関係の統計を説明。特に教育機関別採用実績、退職実績については在職期間別の統計も紹介した。学校側から教育機関別の早期退職者の統計について質問があった。学生が内航タンカーに接する機会を作ることにについて等の意見交換がなされた。</p> <p>学校側から2025年度用学校案内、求人企業向けチラシ、2022年度迄の入学者及び就職先資料が配布された。</p> <p><b>【生徒との懇談】</b>10:30~12:00 * 懇談会出席は3年生40名</p> <p>◆最初 S3 教室に全員が集まり、事務局が準備した参加事業者の会社紹介資料を全員に配布。続いて組合の概略と懇談の進行について説明した。</p> <p>◆その後、訪問者、学生とも3グループに分かれ、訪問者グループのリーダーが懇談をリードし、約30分毎に訪問者グループが移動した。</p> <p>グループ A (航法実験室 1) :山本(リーダー)、山下、田村、外城、上村          グループ B (S3 教室) :伊勢(リーダー)、藤澤、岡、山田、岩永          グループ C (消火救命室) :萬屋(リーダー)、山本、高木、重信</p> <p>◆学生からの質問等(一部)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タンククリーニングの方法について(タンカー志望者より)</li> <li>・航海当直以外で働く時間、一日の労働時間はどの位になるのか</li> <li>・入社後にどのようなギャップを感じたか</li> <li>・社内で従業員と食事に行く機会はあるか</li> <li>・タンカー船は危険なイメージがあるが安全なのか</li> <li>・乗船中に支給される手当には、どのようなものがあるか</li> <li>・船内にトレーニングルームはあるか</li> <li>・入社時に必要な資格</li> <li>・甲板手で入社し三航士に昇格する時期を知りたい(キャリアパスを知りたい)</li> <li>・タンカー船に乗る魅力、やりがいとは</li> <li>・タンカーマンに向いている資質、性格</li> </ul> <p>◆参加者の所感等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生で本格的な乗船実習の経験がないからか、海上職か陸上職かを含めてほとんど就職について決めていない状況と感じられた。</li> <li>・学生から質問が出にくい雰囲気からスタートした。各社が船員としてのキャリアプランやキャリアにお</li> </ul>	

いてタンカーマンを目指すことの優位性を話した。特に1回目のグループでは、先に会社側から話したり、学生に質問を投げかけたりした方が、質問が出やすかった。例年に漏れず、学生の様子を見ながら進めることが肝要。

- ・初参加者からは進路指導の先生から、我が校は何月頃までには企業から求人票を頂いて、いつ頃学生が針路を検討・決定するのかスケジュール的な事の説明を頂けるとありがたかった。
- ・教員としては、参加者から将来の船員としてのキャリア、人生設計のイメージ、ジョブホッパーに対する会社側の率直な印象などについての説明が有益と感じているようであった。
- ・外航への就職事情が良くなっているせいか、予想以上に内航を意識している学生が非常に少ないと感じ残念であった。

以上



## 学 校 訪 問 報 告 書

訪問学校名	大阪府立成城高等学校
訪問年月日	令和 6年 11月20日
訪 問 者 9社、10名	(関西支部) 斎藤 (上野ロジテム株) 木村 (木村海運株) 夏本 (有オリエントシップ) 上村 (事務局)
学校側面談者	株さんぼう による就職ガイダンス形式
実施事項	○(1)生徒希望者に説明

懇談・意見交換概要 (別紙添付も可)

株さんぼう による 就職ガイダンス 形式にて 1年生の希望者 (3名) に対し、  
船の仕事とタンカーについて説明を実施。

参加者からの希望動機

- ・ 船員になりたいと感じている  
タンカー船希望 フェリー希望 なんとなくかっこいいかなと思った等  
数々の志望動機があった。

本校から、直接船会社に就職は困難なので、JMETS 進学を進めた。

◎生徒からの質問

- ・ 仕事を決めるうえで何が重要と考えますか？  
安定した仕事であるか、また働きやすさ 友達とも会えるなど
- ・ 食事はどうするのですか  
大型船は、ご飯を作ってくれる人 (司厨員) がいます。  
小型船は、各自で作って食べることもあるので、就職先の会社で確認してください。
- ・ 給与・休暇・乗船中の仕事内容などについて 説明。

○終了後、進路指導部の川妻先生とお話をし、海運関係の就職や進学の情報皆無であるので、今後もこのような情報をお願いしたいとされた。

○今回初めて普通科の高校での説明となったが、船員になりたいと思っている生徒もいることがわかり、このような機会に積極的に参加させていただき、水産高校だけではなく工業科や普通科等にもすそ野を広げていきたいと実感した。